
令和2年 第2回(定例)日出町議会会議録(第2日)

令和2年6月8日(月曜日)

議事日程(第2号)

令和2年6月8日 午前10時00分開議

開議の宣告

請願の上程

議案質疑

- 日程第1 承認第2号 令和元年度日出町一般会計補正予算(専決第3号)について
- 日程第2 承認第3号 令和2年度日出町一般会計補正予算(専決第1号)について
- 日程第3 承認第4号 令和2年度日出町一般会計補正予算(専決第2号)について
- 日程第4 承認第5号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について(専決処分)
- 日程第5 承認第6号 日出町税条例等の一部改正について(専決処分)
- 日程第6 承認第7号 日出町税特別措置条例等の一部改正について(専決処分)
- 日程第7 承認第8号 日出町税条例の一部改正について(専決処分)
- 日程第8 承認第9号 日出町国民健康保険条例の一部改正について(専決処分)
- 日程第9 承認第10号 日出町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について(専決処分)
- 日程第10 承認第11号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について(専決処分)
- 日程第11 承認第12号 日出町介護保険条例の一部改正について(専決処分)
- 日程第12 議案第33号 令和2年度日出町一般会計補正予算(第1号)について
- 日程第13 議案第34号 令和2年度日出町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 日程第14 議案第35号 日出町税条例の一部改正について
- 日程第15 議案第36号 各種委員会委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について
- 日程第16 議案第37号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第17 議案第38号 日出町社会教育委員条例の一部改正について
- 日程第18 議案第39号 日出町手数料条例の一部改正について
- 日程第19 議案第40号 日出町南端コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第41号 日出町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一

部改正について

- 日程第21 議案第42号 日出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第22 議案第43号 日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第23 議案第44号 日出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第24 議案第45号 大分市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議について
- 日程第25 同意第3号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第26 同意第4号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第27 同意第5号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第28 同意第6号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第29 同意第7号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第30 同意第8号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第31 同意第9号 日出町農業委員会委員の任命について
- 日程第32 同意第10号 日出町職員懲戒審査委員会委員の選任について
- 日程第33 同意第11号 日出町職員懲戒審査委員会委員の選任について
- 日程第34 報告第1号 令和元年度日出町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 日程第35 報告第2号 令和元年度日出町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
- 日程第36 報告第3号 日出町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
- 日程第37 報告第4号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
- 日程第38 報告第5号 和解について
- 議案及び請願の委員会付託
- 日程第39 一般質問
- 散会の宣告

本日の会議に付した事件

開議の宣告

請願の上程

議案質疑

- 日程第1 承認第2号 令和元年度日出町一般会計補正予算（専決第3号）について
- 日程第2 承認第3号 令和2年度日出町一般会計補正予算（専決第1号）について
- 日程第3 承認第4号 令和2年度日出町一般会計補正予算（専決第2号）について
- 日程第4 承認第5号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について（専決処分）
- 日程第5 承認第6号 日出町税条例等の一部改正について（専決処分）
- 日程第6 承認第7号 日出町税特別措置条例等の一部改正について（専決処分）
- 日程第7 承認第8号 日出町税条例の一部改正について（専決処分）
- 日程第8 承認第9号 日出町国民健康保険条例の一部改正について（専決処分）
- 日程第9 承認第10号 日出町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について（専決処分）
- 日程第10 承認第11号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について（専決処分）
- 日程第11 承認第12号 日出町介護保険条例の一部改正について（専決処分）
- 日程第12 議案第33号 令和2年度日出町一般会計補正予算（第1号）について
- 日程第13 議案第34号 令和2年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第14 議案第35号 日出町税条例の一部改正について
- 日程第15 議案第36号 各種委員会委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について
- 日程第16 議案第37号 日出町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第17 議案第38号 日出町社会教育委員条例の一部改正について
- 日程第18 議案第39号 日出町手数料条例の一部改正について
- 日程第19 議案第40号 日出町南端コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議案第41号 日出町公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の一部改正について
- 日程第21 議案第42号 日出町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第22 議案第43号 日出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第23 議案第44号 日出町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 日程第24 議案第45号 大分市の公の施設を日出町の住民が利用することに関する協議

について

- 日程第25 同意第3号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第26 同意第4号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第27 同意第5号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第28 同意第6号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第29 同意第7号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第30 同意第8号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第31 同意第9号 日出町農業委員会委員の任命について
日程第32 同意第10号 日出町職員懲戒審査委員会委員の選任について
日程第33 同意第11号 日出町職員懲戒審査委員会委員の選任について
日程第34 報告第1号 令和元年度日出町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
て
日程第35 報告第2号 令和元年度日出町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
て
日程第36 報告第3号 日出町土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
日程第37 報告第4号 和解及び損害賠償の額を定めることについて
日程第38 報告第5号 和解について
議案及び請願の委員会付託
日程第39 一般質問
散会の宣告

出席議員（16名）

1番	河野 美華君	2番	豊岡 健太君
3番	安部 徹也君	4番	川辺由美子君
5番	衛藤 清隆君	6番	阿部 真二君
7番	上野 満君	8番	金元 正生君
9番	川西 求一君	10番	岩尾 幸六君
11番	土田 亮治君	12番	工藤 健次君
13番	森 昭人君	14番	熊谷 健作君
15番	佐藤 二郎君	16番	池田 淳子君

欠席議員（なし）

欠 員 (なし)

事務局出席職員職氏名

局長 河野 匡位君 係長 河野 裕治君

説明のため出席した者の職氏名

町長	………	本田 博文君	副町長	………	目代 憲夫君
教育長	………	堀 仁一郎君	会計管理者兼会計課長	…	佐藤小百合君
総務課長	………	藤本 英示君	財政課長	………	白水 順一君
政策推進課長	………	木付 達朗君	契約検査室長	………	中山 雅広君
税務課長	………	今宮 明君	住民課長	………	堀 雅之君
福祉対策課長	………	伊豆田政克君	子育て支援課長	………	安田 恵君
健康増進課長	………	後藤 英樹君	生活環境課長	………	梶原 新三君
商工観光課長	………	安田加津浩君	農林水産課長	………	河野 一利君
都市建設課長	………	須藤 淳司君	上下水道課長	………	古屋秀一郎君
教育委員会教育総務課長	…	帯刀 志朗君	教育委員会学校教育課長	…	稗田 健治君
社会教育課長	………	河野 英樹君	文化・スポーツ振興課長	…	後藤 良彦君
監査事務局長	………	工藤 明美君	総務課参事兼危機管理室長	…	藤本 周司君
総務課課長補佐	………	赤野 公彦君	財政課課長補佐	………	河野 明弘君

午前10時11分開議

○議長（池田 淳子君） 皆さん、おはようございます。

開議の宣告

○議長（池田 淳子君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、これより本日の会議を開きます。

会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

請願の上程

○議長（池田 淳子君） 本日までに受理した請願1件をお手元に配付しております。

なお、請願につきましては、その写しにより説明を省略します。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田 淳子君） 異議なしと認めます。したがって、請願については説明を省略することに決定しました。

議案質疑

日程第1. 承認第2号

日程第2. 承認第3号

日程第3. 承認第4号

日程第4. 承認第5号

日程第5. 承認第6号

日程第6. 承認第7号

日程第7. 承認第8号

日程第8. 承認第9号

日程第9. 承認第10号

日程第10. 承認第11号

日程第11. 承認第12号

日程第12. 議案第33号

日程第13. 議案第34号

日程第14. 議案第35号

日程第15. 議案第36号

日程第16. 議案第37号

日程第17. 議案第38号

日程第18. 議案第39号

日程第19. 議案第40号

日程第20. 議案第41号

日程第21. 議案第42号

日程第22. 議案第43号

日程第23. 議案第44号

日程第24. 議案第45号

日程第25. 同意第3号

日程第26. 同意第4号

日程第27. 同意第5号

日程第28. 同意第6号

日程第29. 同意第7号

日程第30. 同意第8号

日程第31. 同意第9号

日程第32. 同意第10号

日程第33. 同意第11号

日程第34. 報告第1号

日程第35. 報告第2号

日程第36. 報告第3号

日程第37. 報告第4号

日程第38. 報告第5号

○議長（池田 淳子君） 日程第1、承認第2号令和元年度日出町一般会計補正予算（専決第3号）についてから日程第38、報告第5号和解についてまでの承認11件、議案13件、同意9件、報告5件を一括上程し、議題とします。

これより議案質疑を行います。

議案質疑に対する通告がありませんでしたので、これで議案質疑を終わります。

議案及び請願の委員会付託

○議長（池田 淳子君） お諮りします。

ただいま議題となっております承認11件、議案13件、同意9件、報告5件並びに請願1件をお手元に配付しております付託表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託します。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田 淳子君） 異議なしと認めます。したがって、承認11件、議案13件、同意9件、報告5件並びに請願1件をそれぞれの所管の常任委員会に付託することに決定しました。

日程第39. 一般質問

○議長（池田 淳子君） 日程第39、一般質問を行います。

なお、今定例会の一般質問は9名の議員から通告があり、6月4日の議会運営委員会におきまして、今日と明日の2日間で実施することに決定しました。したがって、本日は受付番号5番までの5名、安部徹也議員、阿部真二議員、河野美華議員、豊岡健太議員、岩尾幸六議員の一般質問を実施し、あとの4名、熊谷健作議員、川辺由美子議員、衛藤清隆議員、工藤健次議員

は明日実施いたします。

議会報編集特別委員会委員長より、議会報編集のため、一般質問者の写真撮影の許可の申し出がありましたので、これを許可します。

それでは、順次質問を許します。3番、安部徹也君。安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） おはようございます。議員番号3番の安部徹也です。

まずは、緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだまだ猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に関して、罹患された方にはお見舞い申し上げるとともに、お亡くなりになられた方には心より哀悼の意を表します。我々人類がいまだかつて経験したことのないこの未知の恐怖に世界経済や社会は大混乱に陥っていますが、必ずやこの未曾有の困難を克服し、平穏な日々がそう遠くないうちに戻ってくるという希望を持って日々生活していくことが大切だと思います。

さて、日出町でも、この新型コロナウイルスの脅威にさらされたわけですが、今回の一般質問では、広く経済・社会面にわたってその影響と町としての支援策を確認していきたいというふうに思っております。

まずは、第一次産業です。

特に、食に関する農業と漁業は、少なからず新型コロナウイルスの影響を受けています。3月末に農協を訪れて影響を確認しましたが、日常的に消費される野菜に関しては余り影響を受けていないが、ミカンなどの柑橘類は大きく値を下げている、また肉牛の子牛の相場は下落しているという話を伺いました。また、同時期に、深江漁港の朝市に行ってみました。特に高級な魚が安く売られているのが印象的でした。

町としては、全体的にこれら農業や漁業など一次産業における新型コロナウイルスの影響を把握されていますか。把握されていたら、具体的に教えてください。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長、河野一利君。

○農林水産課長（河野 一利君） それでは、安部議員の御質問にお答えいたします。コロナウイルスの影響についてということで、農林水産業について調査した結果をお答えしたいというふうに思います。

議員おっしゃるとおり、各部門でそれぞれ影響が出ております。

まず、農業関係では、野菜類は端境期でもあり、特に大きな影響はないということでした。しかし、市場では、外食用野菜や花卉、また臨時休業での給食キャンセルなどが挙げられておりました。そのほか、資材等の遅延はないということですが、作業用のアルコール、マスク、それからビニール手袋などが不足しているということが挙げられておりました。続いて、果樹類では、今後、ハウスミカンなどの贈答用の果物などに影響が出るのではないかとということが心配されております。

それから、畜産におきましては、市場の子牛価格の低迷や、温泉用卵、それから外食の大手チェーン向けの卵の需要の減少など、ほかには畜産の飼料購入の際の県外業者の出入りなどが心配されているという声がありました。

なお、購入飼料や資材などの遅延はないということでございます。

続いて林業関係ですが、林業関係につきましては、特にコロナの影響は出ていないというふう聞いております。

水産業関係につきましては、市場に足を運ぶ客が減り、魚の相場が落ち込み、特にタイやカレイなどの高級魚の値段が落ちているようです。

それから、飲食店や宿泊施設へ魚を納められない、漁に出ても燃料費のほうが高くつくというような影響が出ていると聞いております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） ありがとうございます。私が現地調査行ったのと大体同じような結果だというふうに思うんですが、やはり一次産業も多かれ少なかれ影響を受けているということになります。町としてはどのような支援策を実施もしくは検討しているのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長。

○農林水産課長（河野 一利君） それでは、お答えいたします。

支援策ということですが、農林水産業につきましては、皆さん御承知のとおり、国や県の施策が出ております。また、団体等が取り組む各種支援策を含め、専決させていただきました町独自事業を活用するとともに、今後も国や県の動向を注視しながら、現場の要望等を踏まえ、対策を講じていきたいというふうに感じております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 事前に全員協議会等で支援策を伺ったところ、町独自として、油代とか資材費、そういったものを支援するようなお話もあったかとは思いますが。今ちょっと具体的なものがなかったんで、そういうこともあったかと思いますが。

ハウス農家や漁師の方々に話を聞くと、商品価格が下がったり原油価格が高騰したりした影響で、収穫があっても油代にもならないという話をよく聞きます。今後も、新型コロナウイルスの影響で価格が下げ止まらないことも十分に考えられますので、町としてはしっかりと第一次産業に従事される方を支えていただければというふうに思います。

また、今お話があったとおり、国も、これは第一次産業にとどまりませんが、持続化給付金として、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により前年同月比で事業収

入が50%以上減少した中小企業や個人に対して、最大200万円の補助金を支給する制度を開始しています。漁協などでいろんな話をしたんですが、漁協などで話をすると、この持続化給付金の制度をぜひとも利用したいというお声も上がったわけなんですけど、農林水産課のほうにも相談ございましたか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長。

○農林水産課長（河野 一利君） お答えいたします。

農林水産課のほうにも、利用者のほうから何件か問い合わせ等がございました。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） この持続化給付金は国の制度であり、町には直接関係ないというふうに思いますが、私、問題となるのは、これ、申請がオンラインのみという点だと思うんです。第一次産業に従事する方というのはやはり高齢者が多い傾向にあつて、ネット環境が整備されていない方やパソコンをお持ちでない方がいらっしゃることも十分に考えられます。もちろん国も全国各地に申請サポート会場を設けて、近くでいうと別府にあると思うんですが、申請者のサポートを行っていますけど、町民から相談があった場合には、ぜひとも懇切丁寧な支援をお願いできればというふうに思っています。

それでは、続いて、その他の産業における新型コロナウイルスの影響についてお伺いしたいというふうに思います。

銀行の支店長や様々な業種の経営者に話を伺うと、飲食や宿泊、タクシーなどの業界で売上げ減少が顕著であり、今後は製造業も少なからず影響を受けるだろうという印象を受けました。

そこで、町としては、商業、工業において新型コロナウイルスがどのような影響を及ぼしているかと把握されていますか。ちまたでは誰もが知る大手企業、レナウンがコロナ関連で業績が悪化し民事再生の手続を開始するなど、いわゆるコロナ倒産が増えてきていますが、日出町ではコロナ倒産もしくは廃業は現時点ではあるのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長、安田加津浩君。

○商工観光課長（安田加津浩君） それでは、安部徹也議員の御質問にお答えいたします。

4月と5月に様々な業種の町内事業者等40社に対しまして、電話による聞き取り調査を実施しておりますので、5月の結果について御報告をさせていただきたいと思っております。

既に影響を受けている事業者数は40社中29社でございます。その被害は、製造業や運輸業、飲食業や宿泊業など、議員おっしゃったとおり、幅広い業種に及んでおります。特に飲食業では5割から9割、それから宿泊業におきましては、休業、休館などの実施に伴いまして、前年比から9割以上の大幅な減少となっている事業者も発生しております。

また、こういった事業者に対しまして、労働者の解雇等を行っていないかの確認をしておりますが、制度融資や雇用調整助成金の活用を図りながら、厳しい中ではありますけれども、雇用の維持に努めているという回答を得ているところでございます。

一方、少数ではございますけれども、製造業の一部の事業者からは特に影響が出ていないという回答や、小売業の事業者の中には売上げが伸びているという回答をいただいたところでもございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 最後に聞いた、日出町でコロナ倒産もしくは廃業は現時点ではありますか。それは把握されているでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） 今現在、聞き取り調査をした時点では、そういう情報は入っておりません。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） コロナ倒産、ないということで安心したんですが、新型コロナウイルスは日出町の事業に深刻な打撃を与えているのが現状だというふうに言えると思うんですが、町としてはどのような支援策を実施しているのでしょうか。主要なものを教えてください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

先般の5月14日の全員協議会で、制度について御説明をさせていただきました。

主要な町の独自事業といたしましては、中小企業等の事業活動維持支援事業、1千万円の融資に対します3%、上限が30万円の補助、それと中小企業等経営支援利子補給事業、現在借入れをしております債務につきまして、借換えをした場合の利子の補給の制度でございます。また、中小企業等の賃借料、家賃等の補助事業についても先般の全員協議会のほうで御説明をさせていただいたところでございます。

あと、飲食店のほうにつきましては、コロナウイルスに関係して売上げが減少している町内の飲食店につきまして、応援するためにテイクアウトの推進をします事業ということで、飲食店のほうに補助事業として、しているところでございます。

大きなものとしては4点でございます。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） ありがとうございます。今確認したところ、現状は借入れや借換えに対する補助金、家賃補助、あと飲食店関係の支援、テイクアウトの補助、「ひじYEAH EAT」というふうにネーミングされていると思うんですが、この中で、私、飲食店関連支援の「ひじYEAH EAT」、これはネーミングも含めて非常に素晴らしい施策だというふうに思ったんですが、少し残念なところもあるので、ここで質問させていただきたいというふうに思います。

当初、全員協議会で、この「ひじYEAH EAT」、飲食店関連の支援を報告されたと思うんですが、その際には三十数店舗、35店舗か6店舗だったかな。そういう登録店がありました。恐らく日出の飲食店は100店舗ほどあるのではないかというふうに思われますので、私自身、登録店以外にちょっと行って見てこのイエイトのことを聞いてみると、知らないとか、町報などでイエイトのことは知っていたが申請方法などが分からないといった声が多く聞かれました。

そこで、私自身、ほかの飲食店、登録されていない飲食店を訪れて、日出町独自の飲食店支援策になりますので、ぜひとも商工観光課の窓口で申請してくださいというふうにお伝えしているのですが、当初、このイエイトの告知申請はどのようにして行われたんですか。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えします。

このイエイト、「ひじYEAH EAT」でございますけれども、5月の20日から開始をさせていただきました。当初は、議員おっしゃったとおり、町報、それからSNS、町のホームページ等、啓発をさせていただいたところでございます。

今御指摘のありました、登録店舗にまだ申請がないお店屋さんにつきましては、商工会のほうに会員として加入をしていただいている店舗さんについては、商工会のほうから通知を差し上げて、事前の受付等、周知ができております。商工会に未加入店舗につきましては、現在、当課のほうであらゆる方法を使いまして店舗の情報収集をさせていただきまして、都度、職員のほうでその店舗に出向くなどして、制度の説明、それから参加依頼の御案内をさせていただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） そうですね。今、課長がおっしゃったとおり、恐らく当初は商工会の会員さん中心にこのイエイトを告知して、スタート時点は大半、もうほとんどが商工会の会員さんだったと思うんです。

ただ、商工会に任せていては、商工会に入会している飲食店は支援が受けられ、商工会に入会していない飲食店は支援が受けられないという格差につながりかねません。たとえどんな小さな

飲食店でも、日出町で事業を行っている限りは支援の手を差し伸べるという気持ちで対処していただけると、事業主も日出町で飲食店をやっていてよかったという思いを抱いていただけたと思います。

先ほども申し上げましたが、日出町の飲食店というのは恐らく100店舗ほどだというふうに推測されますので、イエイトという支援策を知らないという飲食店がなくなるまで、商工観光課におかれましては、最後の店舗まで置き去りにしないという覚悟を持って、先ほど課長がおっしゃったように、徹底的に周知徹底のほど、よろしくお願ひしたいというふうに思います。

それでは、次の質問に移ります。

先ほど御回答いただいた支援策を精査いたしますと、業界別に言えば、飲食関連は手厚い支援が実施されていますが、同じように新型コロナウイルスの影響で苦戦するタクシー業界やホテル業界は特別な支援が実施されておられません。町としては、これらの業界は今のところ支援は必要ないと判断しているのでしょうか。それとも、今後の支援策の際に考慮すべきと考えているのでしょうか。ほかの業界と併せて、今後の支援策の方針をお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） それでは、お答えいたします。

議員おっしゃいましたとおり、宿泊業、それからタクシーを含めた運輸業界等の支援の御質問でございますが、その支援を含めまして、今後、全体的にどういう施策がいいのか、今後の状況を注視しながら取り組んでいきたいと、そういうふうに考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） お隣別府市では、長野市長自らが、新型コロナウイルスの影響で予約のキャンセルが相次ぐ市内のホテルや旅館を支援するため、「別府エール泊」と題して、市内の宿泊施設に計20泊することを明らかにしました。また、市幹部や知人たちにも呼びかけ、夏までに計1千泊を目指すということです。

日出町でも、ぜひとも積極的に新型コロナウイルスの影響で業績に深刻な打撃を受けた業者に対する公的、そして私的な支援を考え、実施していただきたいというふうに思います。

続いては、個人への経済的な影響について確認していきたいというふうに思います。

5月13日付の西日本新聞で、次のような報道がありました。「新型コロナウイルスの感染拡大で景気が急速に悪化する中、生活保護に関する自治体への相談や申請が九州でも急増している。休業要請が各地で始まった4月の相談件数は、佐賀市で6割増、宮崎市で4割増など、集計中の熊本市を除く政令市と県庁所在地の全7市で前年同月に比べ増加。各自治体の担当者は、生活弱者への影響が本格的に出るのは5月以降として、相談や申請は今後さらに増えるとの見方を示

す」という記事です。

そこでお伺いしたいのですが、日出町において、生活保護の申請状況はどのような感じになっているのでしょうか。増えているのでしょうか。減っているのでしょうか。それとも、変わっていないのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 福祉対策課長、伊豆田政克君。

○福祉対策課長（伊豆田政克君） お答えいたします。

生活保護の申請状況ですが、現在のところ、コロナウイルスが直接の原因とするようなものはございません。また、昨年度に比べまして、特に件数が増加等はしてはおりません。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 生活保護の申請はそんなに増えていないということで安心しました。

一方で、生活保護までは行かなくても、生活が困窮しているという人もいます。例えば、社会福祉協議会で取り扱う最大80万円の緊急小口資金、総合支援資金の融資の状況はどのようなになっているのでしょうか。把握していますか。

○議長（池田 淳子君） 福祉対策課長。

○福祉対策課長（伊豆田政克君） お答えいたします。

緊急小口資金、総合支援資金の貸付けでございますけれども、議員おっしゃられたように、日出町社会福祉協議会のほうで行っております。確認しましたところ、3月から5月で98件の申込みがあったということです。

また、住宅確保給付金についても、申請準備中を含めまして10件あったということで報告いただいております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 98件ということで、結構多いなという印象があるんですが、それだけやはり町民の方は生活に困窮している方も増えてきているということだと思います。

それでは、国は国民1人当たり10万円の支給を行いました、町としては今後独自に町民全員もしくは新型コロナウイルスの影響を受けて生活が困難になった方への給付金を支給する予定はありますか。町長、どうでしょう。

○議長（池田 淳子君） 町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） 新型コロナウイルスの影響で事業等に支障を来して、生活が苦しくなったという方はおられると思います。特別定額給付金のような給付金ということのようですけども、

これからの様子を見ながら、今のところ、特別定額給付金、日出町は比較的皆さんから申請が早く出てきておりました、今日現在で支払い済みあるいは支払い手続に入ったのが対象者全体の96%ということで、ほぼ全員と言っていいんだろうと思いますけども、申請があった方には遅滞なく給付ができておりました、今、給付ができていないのが33件、これは書類の不備で本人に附属書類の照会をしているという段階で、事務の遅滞もほぼないというふうに思っております。

こういった形で、たちまちの支援はしておりますので、この後、さらにこの10万円等でも、そのほかにも、先ほど申し上げました、事業をしている方にはいろんな支援策を取り組んでおります。これでまだ足りないという部分があれば、これからしっかり考えていきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 今後、新型コロナウイルスの影響が長引けば生活困窮者の割合も増えてくるというふうに思われますので、町長、ぜひとも状況を適切に判断しながら、今後の支援策として、生活困窮者に対する町独自の給付金なども検討いただきたいというふうに思います。

さて、続いては、新型コロナウイルスの社会的な影響についてお伺いします。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために、町内の小学校や中学校は休校などの措置が取られました。具体的にはどのような影響があったのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 学校教育課長、稗田健治君。

○教育委員会学校教育課長（稗田 健治君） それでは、質問にお答えいたします。

学校教育への影響につきましては、臨時休業、分散登校等による授業時間数の減少、各教科等の指導内容の変更、中学校部活動の活動時間の減少の3点が考えられます。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 今、御回答いただいた影響、休校とか分散登校によっていろんな影響が出ていると思うんですが、どのような対策で例年どおりのカリキュラムに戻していく予定ですか。

○議長（池田 淳子君） 学校教育課長。

○教育委員会学校教育課長（稗田 健治君） お答えいたします。

授業時間数の減少につきましては、夏休みの前半と後半を授業日として対応していきたいと考えております。

次に、各教科等の指導につきましては、感染リスクの高い学習活動については、文部科学省や県の指導に基づいて、指導の順序を入れ替えるなどして、当分行わないようにしております。今

後、国や県の通知にのっとり、コロナウイルス感染症の状況等を見ながら、実施の可否、実施時期を検討してまいりたいと考えております。

最後に部活動についてですが、これまでの臨時休業や分散登校により、十分な活動ができていない状況となっております。今後は、可能な限り感染対策を行った上で、リスクの低い活動から徐々に実施していき、より効果的な活動の在り方についても考えていきたいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） ありがとうございます。全国的に休校措置が取られているために、日出町だけに学習の遅れが発生しているわけではありませんが、オンライン学習など、やり方によっては生徒の学力に差がつくことが予想されますので、ぜひとも適切な方法で差がつかないように、教育委員会や先生方には、大変な状況ではありますが、尽力していただきたいというふうに思います。

続いて、この学校の休校で保護者の方には多大なる負担を強いることになったと思うんですが、特に危惧されるのは、近くに身寄りのいない独り親だと私自身は思っています。近くにおじいちゃんやおばあちゃんがいれば、子供を預けて仕事に行くということもできると思いますが、頼れる人がいなければ、自分で面倒を見るしかありません。もちろん児童クラブに子供を預けて仕事に行けるとは思いますが、独り親の世帯は特にコロナウイルスの影響を受けた世帯だというふうに思います。

6月6日の時事通信の報道によれば、独り親世帯の7割弱が新型コロナウイルスの影響で収入が減っている上に、8割強は逆に支出が増えているそうです。調査した団体は、新型コロナウイルスの影響で収入が大幅に減らず、国の支援対象にもならない世帯も経済的に苦しい状況に立たされていると、その窮状を訴えています。

日出町でも独り親世帯は少なからずありますが、どのような支援策を実施しているのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長、安田恵君。

○子育て支援課長（安田 恵君） 安部議員の質問にお答えいたします。

独り親家庭の現状ですけれども、現在、コロナウイルス発生後、その影響について、窓口及び電話等で主に経済的な内容についての御相談を受けております。

例年8月に、児童扶養手当受給者に対しまして、現況届を行っていただく際に受給者と職員のほうが面談をして、所得や生活実態等の確認をいたします。今年の8月につきましても、コロナ発生後については丁寧に面談をして、生活実態及び困っていること、町の子育て支援に希望することなどの調査を別に行い、そこでまた新たに具体的な現状及びニーズ等を把握していきたいと

考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） どうも御回答ありがとうございます。独り親の世帯とはしっかりと面談を行って、そのニーズを酌み取る、その努力をしているということで安心しました。

この独り親、非常にやはりコロナウイルスで影響を受けておりますので、今後さらなる支援が必要と判断された際には、今後の支援策を打ち出していただくことを期待しております。暮らすことに喜びを感じる町とは、やはり一人一人のニーズを把握して、かゆいところに手が届くサービス、支援を打ち出している町ということだと思いますので、そこら辺はよろしくお願ひしたいというふうに思います。

また、この独り親には、もう一点気になることがあります。

ある日の朝の情報番組で、新型コロナウイルス感染症にかかった女性アナウンサーが、その方は御主人も同時期に新型コロナウイルス感染症にかかっていたわけですが、小さなお子様を抱え、親が共倒れになったときは、子供の面倒は誰が見るのかという問題を提起されていました。

そこでお伺ひしたいんですが、独り親で近くに身寄りもない場合、親が新型コロナウイルス感染症になったら、日出町では子供は誰が面倒を見るようになっているのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（安田 恵君） 安部議員の質問にお答えいたします。

保護者が新型コロナウイルス感染のために病院等に入院した場合、基本、自宅、宿泊等での療養、待機等について必要な判断を行ってまいります。まずは親族等の保護によるものとなります。

しかし、どうしてもそういう見る親族がない場合につきましては、児童相談所と相談の上に、迅速に子供の保護について対応してまいります。

また、保護者の病気の状況によりましては、保護者及び子供と一緒に入院する、軽症な場合は保護者が自宅のほうで療養する及び子供の年齢や保護者の体調等の状況に応じて迅速に対応してまいります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 日出町では、そのように制度的に定められているので、独り親の場合も新型コロナウイルスにかかったとしても大丈夫だというふうに思うんですが、今、課長の答弁の中で、ケース・バイ・ケースというようなことを言われたと思うんですが、例えば新型コロナウイルス感染症に親がかかった場合、児童施設に預けるといような話もあったと思うんで

すが、実際に親と濃厚接触した子供の受け入れを拒否するという事は考えられないのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（安田 恵君） 大分県及び保健所等に確認いたしましたところ、児童相談所内にそういう施設を準備しているという報告を聞いておりますので、そちらのほうで対応したいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） ありがとうございます。町としても、そういう規則があれば、しっかりと規則どおりに全ての人が対応するようにチェックしていただきたいというふうに思います。そして、もしものことがあった場合には、役場の方が最終的には責任を持ってしかるべき支援を行うということを念頭に置いていただけると、町民の皆様も安心して暮らせると思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、続いて、予算関係の質問に移っていききたいというふうに思います。

いまだ終わりの見えない新型コロナウイルスの猛威ですが、今後も町の経済や社会に多大な影響を与え続けることが予想されます。

そこで、新型コロナウイルスの終息が長引いた場合、今後も支援策として膨大な予算を計上することになると思いますが、現状まで、町独自で実施した支援策の予算と今後の予算、もし決まっていれば、この1年間であとどのくらいが必要になるのかと考えているのでしょうか。教えてくださいませんか。

○議長（池田 淳子君） 財政課長、白水順一君。

○財政課長（白水 順一君） それでは、議員の御質問にお答えいたします。

今回、6月定例会の補正予算のほかにも、これまで予備費や町長専決処分による補正予算を2回計上しております。国が全額負担しております特別定額給付金事業をはじめ、現在、日出町で計上しております新型コロナ対策の予算の総額は30億9,459万8千円であります。

なお、そのうち、日出町の財源が伴う町の単独事業や、県や国の補助金を一部財源とした事業など、事業費の合計額は1億7,553万9千円であります。

今後につきましては、状況を見ながら、また予算のほうをつけていくような形になろうかと思っております。

以上であります。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） やはり億単位の支出ということで、私自身、今回の新型コロナウ

イルスの猛威は日出町の財政に非常に大きな影響を与えるのではないかと危惧しています。あくまでも推測になりますが、来年度は法人税などをはじめとした税収が億単位で落ち込む一方で、それを補填する地方交付税交付金は、今の国の財政状況を考えれば大幅に増額されることは難しいのではないかとこのように考えています。逆に新型コロナウイルス関連での歳出は大幅に増え、一時的にでも支出が収入を上回る、赤字に転落して財政危機を迎えることも十分考えられます。

そこで財政課長にお伺いしますが、新型コロナウイルスは日出町の財政にどのような影響を与え、今年度、来年度の財政状況はどのようにになると推測していますか。

○議長（池田 淳子君） 答弁をされる場合は、マスクを外していただいて結構です。財政課長。

○財政課長（白水 順一君） それでは、町の財政、行財政改革に与える影響はということでございます。

令和2年度の当初予算を編成した時点においては、事務事業の見直し等の効果により、財政構造は大幅に改善することができました。

しかし、新型コロナウイルスの影響として、先ほど議員おっしゃったように、法人町民税が経済活動等の低下により減額となることが予想され、またホテル業界の影響によって入湯税も大幅な減少になるかと思えます。また、間接的には、議員もおっしゃったとおり、町消費税交付金など、地方譲与税や交付金が大幅に減少することも懸念されております。

当然、行財政改革プランでは新型コロナウイルスの影響は想定していませんでしたので、プランの中の数値目標の一つであります、令和3年度末までに財政調整基金残高を7億円確保するという目標の実現は、かなり厳しい状況になったのではないかとこのように考えているところでございます。

しかしながら、そもそも財政調整基金というのは災害発生時など有事に備えて積み立てておくものでありまして、コロナ対策の財源に財政調整基金を充当することは基金本来の目的の活用方法でありますので、やむを得ない状況ではあるというふうに考えているところでございます。

もし、プランの数値目標を見直しを行わないとするならば、さらに事務事業の見直しを行うなど、対象事業の範囲を拡大するとか既存事業の執行の停止を考慮しておかなければならないというふうに考えております。また、来年度の予算の編成に向けてシーリングの対象事業を拡大したり、またシーリングの率を増額するなど、検討する必要があるかというふうに思っております。

それと同時に、予想されます税収入の減額に合わせて、普通交付税等の減額を行わないように、国に対して要望してまいりたいというふうに考えているところであります。

以上であります。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） 新型コロナウイルスの影響がなくても日出町の財政は危機的な状

況にあり、行財政改革を推し進めていた最中ですが、新型コロナウイルス対策としての支出は思い切る必要があるというふうに考えています。そういった意味で、現在、地方行政は非常に難しいかじ取りを迫られており、うまく解決するには相当な手腕が求められます。

例えば、県下で言えば、大分市では40億円もの財政調整基金を取り崩して新型コロナウイルス対策を実施していますし、別府市ではブルーラグーン構想、図書館整備など主要事業を含めた多くの事業の執行を見合わせた上で、10億円の財政調整基金を取り崩して対応しています。

ここで町長にお伺いしたいんですが、町長は、新型コロナウイルス対策は国の制度や資金に頼るなど最小限にとどめて、あくまでも計画どおりに行財政改革を推し進めて財政の健全化を目指すのか、もしくは新型コロナの危機から脱出するために、行政の悪化をいとわずに万全の支援を町民に対して施していくのか、そのお覚悟をお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 町長。

○町長（本田 博文君） 新型コロナウイルス対策、どういう考えで取り組んでいくかという御質問でございました。

ただいま課長のほうから御説明ありましたように、そもそも財政調整基金というのは災害発生時などの有事に備えて積み立てておいて使うというものでありまして、まさにこの新型コロナ感染症対策というのはその有事に該当するんだろうというふうに思っております。

安部議員の質問の本意が分かりかねますけども、この状況において行財政改革を優先して進めていくべきだという考え方は、恐らく町民の皆さんの中にも、職員の中にも、私はないんじゃないかなというふうに思っています。この時期に行財政改革優先という考え方をおっしゃる方は、私はとても少ないだろうと。私も同じ考え方です。

まさにこの有事を乗り切るために、町内の資源、財源、そして人、総力を挙げて乗り越える、それが必要だろうというふうに思っておりますので、この期に及んでも行財政改革をしっかりと進めるという考え方は、今のところは、私はちょっと緩める必要があるというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 安部徹也君。

○議員（3番 安部 徹也君） それでは、町長の意思として、行財政改革は一旦棚上げして、この未曾有の危機を克服するために、全精力をコロナの危機の回避に投入するというお考えでよろしいですね。

冒頭でも申し上げたとおり、今回の新型コロナウイルスの脅威は人類がいまだかつて経験したことがないような危機であって、乗り切るためには、今、町長が発言されたような強いリーダーシップが必要不可欠になるというふうに思っています。ですので、町長をはじめとした執行部の

皆様におかれましては、町民誰一人として取り残さない、誰一人置き去りにしない、そんな覚悟を持って、この未曾有の危機に対処していただくことをお願いして、私の一般質問を終わりにしたいというふうに思います。

.....

○議長（池田 淳子君） お諮りします。コロナウイルス感染症防止のため、本会議場の換気を行いたいと思いますので、ここで5分間休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田 淳子君） 異議なしと認めます。したがって、5分間休憩します。10時55分より再開いたします。

午前10時50分休憩

.....

午前10時57分再開

○議長（池田 淳子君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

6番、阿部真二君。阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） こんにちは。ただいま御指名いただきました、6番、阿部真二です。通告書に沿って質問させていただきます。執行部の明確な答弁をお願いします。先ほど同僚議員の質問と重複する内容も多々あると思いますが、丁寧かつ明確な答弁に期待します。

それでは、新型コロナウイルス感染症対応について伺います。

まず、日出町特別定額給付金では重複支給というトラブルが発生しましたが、他市町村と比較しても、早期の発送、申請を三、四日で給付するなど、迅速な対応は町民の期待に応える取組として、町職員の皆様に感謝したいと思います。

それでは、質問に入ります。

日出町も、全国の各自治体同様に、緊急経済対策として、雇用・事業を守る対策、町民の健康・生活を守る対策を講じていますが、どのような対策を講じていますか。時系列でお答えください。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長、後藤英樹君。

○健康増進課長（後藤 英樹君） それでは、お答えいたします。

まず、健康増進課からは、感染症予防面の対策についてお答えいたします。

初めに、新型コロナウイルス対策本部等の取組から御説明いたします。

新型コロナウイルス感染症の国内発生を受けまして、2月20日に、日出町新型インフルエンザ行動計画に基づきます日出町新型コロナウイルス健康危機管理部を設置し、2月20日と翌21日に協議を行い、町として検討すべき項目の洗い出しと、町及び関係団体が主催する行事の

開催など、当面の対応について決定いたしました。

また、2月27日に国から出された学校の休業要請を受けまして、2月28日に、町長を本部長とし、副町長、教育長、各所属長を構成員とする日出町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置いたしました。

その後、4月7日の緊急事態宣言の発出後は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく対策本部と位置づけ、これまでに11回の本部会議を開催し、県内感染例の確認状況や国の基本的対処方針、県の対応方針を受けての学校や町有施設等の取扱い、感染予防対策など様々な協議を行い、町として対応方針を決定してきたところです。

次に、町民から相談への対応といたしまして、2月29日から、土日・祝祭日を含めた電話相談窓口を健康増進課内に設置し、感染症予防対策等の問合せに対応してまいりました。

また、感染症予防対策の取組として、手洗い、咳エチケットや3密を避ける行動、新しい生活様式等を町報やホームページ、回覧、防災無線などのあらゆる媒体を活用して住民周知に努めております。

そのほかには、備蓄マスクから、医療崩壊やハイリスクとされる方への感染を防止することを目的としまして、これまでに約6万枚を配布しております。医療機関、介護施設、障がい者施設、保育園、児童クラブ、幼稚園、小中学校等に対して必要な枚数を配布するとともに、妊婦や内臓疾患や免疫機能障がいを理由に身体障害者手帳の交付を受けた方に対しましても、郵送にて配布を行っております。

長期間にわたります外出自粛要請、いわゆる巣ごもりによりまして、生活不活発となった高齢者への対策がこれから特に重要になってくると考えております。その対応といたしまして、「ひじまち花咲くプロジェクト おうちで運動 花が咲く」と題しまして、花の絵柄を配置した台帳をお配りし、ラジオ体操カードのように自宅で介護予防に資する体操や運動を行った日ごとに花に色を塗っていただき、全て塗り終えた方には粗品を差し上げることで、体を動かす習慣を身につける動機づけを目指しております。

県内で感染事例が1か月以上確認されていないことや、外出自粛疲れから気が緩みがちとなっておりますが、第2波、第3波へ対応するための準備期間と捉えまして、今後もしっかりと対策を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 財政課長、白水順一君。

○財政課長（白水 順一君） それでは、財政課から、緊急経済対策といたしまして予算化したものについて、時系列順にお答えをいたします。

まず、4月28日付で、町内飲食店がテイクアウト事業に取り組むための助成金として、予備

費を活用し、322万円計上いたしました。

続いて、5月1日付で、特別定額給付金事業や、第1弾の緊急経済対策として中小企業等が事業活動を維持するための支援金など、合計29億6,380万9千円の町長専決処分による補正予算を計上いたしました。

次に、5月19日付で、第2弾の緊急経済対策といたしまして、中小企業や第一次産業事業者に対して家賃や材料費の一部を助成するなど、7,617万8千円を同じく町長専決処分にて補正予算に計上いたしました。

また、本6月の定例会では、小中学校のパソコン整備に係る経費など、合計5,139万1千円を新型コロナウイルスの緊急経済対策として計上いたしております。

以上であります。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 各自治体に劣らず早期の対応、対策本部等立ち上げてやってきたと。緊急対策として、テイクアウト事業、特別定額給付金等々の財政的な対策も行ってきたということですが、このようにたくさんの対策を講じてきているとは思いますが、その中で、日出町独自の対策は何でしょうか。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） 先ほどから出ています特別定額給付金事業や、子育て世帯に対して児童手当に1万円を上乗せいたしました臨時特別給付金給付事業など、国が事業費の全額を補助している事業を除き、事業者に対する家賃補助などの助成や学校等の衛生用品の確保など、他の自治体でも同様な事業を実施しておりますけれども、現在予算計上いたしております19の事業につきましては、日出町の財源が入っておりますので、全て日出町独自の対策であるというふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） いろいろ19事業ほどやっているということですが、その中で、他の自治体にはない日出町独自または日出町が一番最初に行った事業ってありますか。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） 他の自治体を全ては把握はしていないんですけど、日出町の特徴としては、テイクアウト事業に子育て世帯の方々に商品券を配って、他の自治体では全体的なプレミアム商品券事業をしておりますけど、この子育て世帯に優遇した商品券を配る事業は日出町がいち早く取り組んだ事業かなというふうに考えております。

以上であります。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） そうですよ。これは、ある事業者の方からも、大変助かると。あれで、厳しいのは厳しいんだけど何とかしのげるということも耳にはしていますので、子育て世帯、1人に5千円の商品券、あれは非常にいい取組であると思います。

最近、佐伯市かな。いろんなどころがもうやっていますけども、プレミアムつき食事券、こういうものを、今後、日出町として取り組む計画とかはありますか。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） 御承知のように、国から第2次の経済対策として交付金が、今週、国会のほうで決定をするというふうに思っております。

今後については、まだ完璧にコロナの状況が収まったわけではございませんので、主としては経済の回復のための事業となるかと思っておりますけど、新しい生活様式のための費用等もかかるというふうに思っておりますので、プレミアム商品券も事業の検討材料の一つかなというふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） ぜひ、もう経済的に非常に低迷している状況ですので、そういう活動、取組、先ほど日出町が一番先にやったのは何ですかと聞いたんですけど、先にやるのもいいんですが、よそがやって成功しているようないい事例があれば、それをすぐ取り入れて、日出町もどんどんそういう対策を講じていただきたいというふうに思います。

それと、ちょっとある人から聞いたことなんですけども、先ほど説明の中にはなかったんですが、食を支える日出町農林漁業者ががんばれ緊急支援事業というものもあるかと思えます。5月14日に、全員協議会で我々説明を受けました。それを、私はある漁業者の方に、こういう緊急支援事業が日出町としてもあるよということを伝えたところ、その方が翌週、18日か何かに、漁業者の方なんですけど、窓口が商工観光だろうというふうに思ったようで、商工観光課に行って、こういう事業があると聞いたんですけども、これはどういうふうにすればいいんですかと問い合わせたところ、たまたま対応した職員が知らなかったのかどうか知りませんが、そのような事業はありませんということで、それは国の持続化給付金のことじゃないですかということをおっしゃって帰されたということがあって、それをまた私のところに来て、行ったら、ないと言われたということをおっしゃってきたので、全協の資料をお見せして、いやいや、前年同期比20%削減した方にはマックス20万円までの助成があるよということをお伝えして、またその人、次の日に商工観光課に行って、いや、やっぱりあるでしょうと聞いたと。そしたら、すいませんと。まだそれは言えなかったんですというようなことを言ってごまかされたというようなことが実際に起き

ています。

こういう、たらい回しというか。もう15日の合同新聞等にも掲載されている内容を、行って聞いたら、ありませんというようなことが実際に起きているので、そういう横の連携とか——これが農林水産に行ったら、農林水産受けたかもしれない。たまたま商工観光に行ったんで違うちゅうたのかもしれないんですけど、それやったらそれで、丁寧に、いや、それは農林水産の事業なんで農林水産課に行ってくださいとか、そういう対応をするべきだと思うんですけど。

それ、どういうふうに考えます。これ、誰が答えるか分かりませんが。そういうたらい回しみたいなの、あることをないと言って追い返したちゅう、そういうことに対して、執行部としてはどういうふうに考えるんですか。

○議長（池田 淳子君） 町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） 全員協議会で説明した事業につきまして、たちまち申請に見えられた方に大変御迷惑をおかけしたこと、責任者として心よりおわびを申し上げたいというふうに思っております。

事業実施についての横の連携がうまく取れていなかったということだろうというふうに思っております。

これからしっかり、こういったコロナの対策は、よくあるのは大体商工事業者対象の事業とか農林事業者対象の事業とかあるわけですけども、今回はそういうことの垣根を越えて皆さんを支援しようということで、そういう区割りのない事業もあつたりしますので、その辺の情報連携は職員間でしっかり取りながら、漏れなく支援対象の方に支援が行き届くように、これから努めてまいりたいというふうに思っております。

大変申し訳ございませんでした。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 町長、ありがとうございます。もうこういうことが二度とないように、しっかり連携、統制を取っていただきたいと思います。

この事業も、一応、窓口は一本化されているんですか。されているのであれば、どこが窓口になるのか教えてください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長、安田加津浩君。

○商工観光課長（安田加津浩君） 議員の御質問にお答えさせていただきます。

今回の議員の御意見いただきました点につきましても、当課としても大変申し訳なく思っております。

なお、5月19日付で専決の予算をさせていただいた家賃補助等についての件だと当課では考えております。5月の19日付で専決の処分をいただいた分で、お見えいただいた方につきまし

ては、5月の26日に農林水産課職員が、当課の事業と合わせて、御本人さんのところに出向いて親切丁寧に説明をさせていただいたところでございます。御了承いただきたいと思えます。

なお、申請の窓口につきましては、一次産業につきましては農林水産課、商工関係につきましては当課のほうで対応いたしております。あとの支給事務につきましては、商工観光課のほうで当たらせていただいているところでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） 大変申し訳ありません。

5月15日付で専決の処分でございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 一次産業については農林水産、商工関係については商工観光課ということなんですけど、これ、多分そんな説明はどこにもないので、できれば窓口は一本化していただけたほうが、町民、利用される方に対しては親切かなと思うんで。ぜひ、その窓口に来ればその次の担当を紹介するなりお連れするなりすればいいことなんで、窓口は一本化するべきじゃないかと思うんですけど、どう思いますか。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） 私がお答えするのは、実は予算のほうは後ほどまた出るかと思うんですけど、緊急経済対策ということで一本化はさせていただいておるんですけど、さすがにやはり担当課のほうに事情に詳しいということで、窓口を設けるよりも事業に精通した各課がそれぞれの事業をやるというような形で、今回は各課のように予算を配分したところであります。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 予算どうかはいいんですけど、町民の方はどこに行けばいいかとか、やっぱり分かりにくいと思うんです。なので、やっぱり窓口は一本化すべきで、その窓口に来たら、どちらに行ってくださいという案内をすればいいだけだと思うんですけど。窓口の一本化ちゅうのは難しいんですか。商工会とかでも、窓口1本しかありませんよ。

○議長（池田 淳子君） 総務課長、藤本英示君。

○総務課長（藤本 英示君） 各種相談の窓口ということで、職員を1人配置しております。今回、特別定額給付金に関しても、問合せはそこで一時受けておりましたので、ほかのこういった助成に関する受付に関しても、そこで最初に受けたものについて各課を紹介するといった形で、一本化につながるように努めていきたいと思えます。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 前向きな答弁、ありがとうございます。もう、ぜひ窓口は一本化ということでお願いしたいと思います。

それでは、今、いろいろ19事業ほどの事業があるということですが、それぞれの対策に必要な経費と財源はどうなっているのでしょうか。具体的に金額を提示してください。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） 財源を伴う19事業の歳出予算の総額は、先ほど申し上げましたが、1億7,553万9千円になります。その歳入の財源につきましては、国からの第1次の臨時交付金の日出町分1億2,089万1千円のうち1億949万1千円を、またその他の国及び県補助金が1,352万2千円、令和元年度決算による繰越金が4,930万8千円、その他一般財源が320万円となっております。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 総額、町の持ち出しというか、町が出す分が1億7,553万9千円と。そのうち、ほとんどが国、県から来ると。単費で出すのは320万円ですか。（「繰越金」と呼ぶ者あり）繰越金が。

この中で、実際に町単費で出す分、町単独で出すお金は幾らになるんですか。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） ただいま申し上げました繰越金4,930万8千円と、その他の一般財源として320万円、この合計額となります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 5,250万円程度が町の持ち出しということなんですけども、こういう緊急経済対策に1億7,553万9千円、うち町が負担する分が5,250万円程度ということで、いろんな19事業の対策を行いながらやっているんですけども、町民の反応等々は何か捉えているのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

町の独自の事業対策でございますが、先般、町議会、それから商工会などの関係団体から御要望をいただきました。当課が担当している事業につきましては、それを踏まえて、今時点では要望に応じているのではないかと考えております。

今後も、商工会、団体等と連携しながら一層の周知に努めていきたいと。まず、これからは多くの方々に申請事務等していただくような形になるかと思っておりますので、その周知に努めていきたいと、そういうふうを考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長、河野一利君。

○農林水産課長（河野 一利君） 議員の御質問にお答えいたします。

農林水産業関係につきましては、主な対策につきましては、資金関係と経費補助が主体となります。これにつきましても、関係団体からの要望を踏まえ、事業を策定させていただいたところでございます。今のところ、特にほかに意見等も上がっておりませんので、今現在での要望には応えられているのではないかとこのように考えております。

コロナ対策につきましては、専決させていただいて間もないことから、現在、先ほども問題になりましたけれども、JAとかJFへ資料などの配布や、関係者への周知等を協議させていただいているところでございます。できるだけ多くの方に利用していただくよう、周知徹底を今後も図っていききたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） ぜひ、活用する方に使われやすい、使われるものにしていただきたいというふうに思いますが、僕がいろんな方に聞く中では、日出町、冒頭に言ったように、特別定額給付金はもう非常に早かったということで、すごくあれは助かるということを知っていますが、その他の取組は遅いというふうに聞いています。

先ほど、安部徹也議員の質問等々もありましたが「ひじYEAH EAT」、あれも非常にいい取組で、事業者の方は助かっているということなですけれども、別府は、ハッシュタグつけて「#別府エール飯」というようなものを、3月か4月か、早い頃からやっていたと思います。テレビコマーシャルもしながら、SNSを使って幅広く発信し、やっていました。さらには、ホテル白菊の駐車場をお借りして、テントを張りめぐらせ、ロータリー形式で、いろんな事業者の方がそこで弁当を販売するというような取組も早くからやっています。

こういう取組、日出町としても、そういう場所がなかなか見つかりにくいという部分もあるかとは思いますが、そういう取組もぜひやって、あと日出町、先ほどからも言っていますが、独自でその自治体に先駆ける、先行した取組があればなおさらいいので、そういうみんなが助かる新しい取組、そこで売上げが伸びれば税金にもつながるということになるかと思っておりますので、そういう新しい取組をいち早く取り組んで、お金がないのは分かるんですけれども、先行投資というか、経済対策を先駆けてやるということをぜひやっていただきたいというふうに思います。

今、財政の話、ちょっとしましたけれども、こういう非常に厳しい財政状況の中なんですけど、予期せぬコロナウイルスの影響というのが5,250万円程度持ち出しがあるということで、先ほ

ど安部徹也議員の質問の最後のほうに行財政改革の話が出て、町長の答弁で一旦緩めると、棚に上げるというような発言があったかと思うんですけども、それは僕個人の考えとしては全然違うんじゃないかと。こういう時期だからこそ行財政改革もしっかりやって、経費を捻出して、それをこういう対策に回すべきであって、国から幾らでも降ってくるのであればいいのかもしれないですけど、それも実際のところは皆さんが働いて払った税金の一部が回ってきているだけなんで、行財政改革を一旦ここで緩めるとかいうのはちょっと違うんじゃないかなと思うんで、その辺は、財政課長、どう思います。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） 影響はかなりあります。財政課といたしましては、まず第一なのは、歳入に見合った予算を組んで執行する、さらに今後も引き続き安定した財政運営をやっていかなければならないということがございますので、緩め方なんですけれど、今はまずは新型コロナウイルス対策が一番だというふうに考えておりますので、先ほど私も答弁で申しましたとおり、財政調整基金を活用することはある程度は仕方ないというふうに考えております。それが第一なんですけど、財政調整基金の使い方といたしまして、歳入歳出、予算編成時のその不足額を埋めるために財政調整基金、また決算でどうしても歳入と歳出の差が出てまいりますので、その歳入の足りない部分の穴埋めをするのが財政調整基金でございますので、それをしっかり確保できる、先ほど申しました事務事業等の見直しも同時に、議員おっしゃるとおり、続けていかなければならないんじゃないかというふうには考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） そうですよ。財調を取り崩すのは、当然、対策に対する費用なんじゃないかと思いません。ただ、それを垂れ流しするだけではそれこそ再生団体に陥る方向に加速するだけなんで、どっかで締めるところは締めていかないといけないと思うので、やっぱり緩めるのではなくて、必要なお金は使うと。行財政改革を緩めるではなくて、必要なお金は使う。ただ、財調の令和3年末に7億円というのは一旦棚上げするということだと僕は今認識しているんですけど、そういうことですよ。町長、どうですかね。

○議長（池田 淳子君） 町長。

○町長（本田 博文君） この新型コロナウイルス感染症対策、国内・県内経済、そして町内にも経済の影響が及んできたというふうに関心されたことから、4月の7日に、職員に経済対策を考えるようにという指示を行ったところなんです。この時点では、財源の当てはありませんでした。想定できるのは、繰越金が一定程度あるだろうというところぐらいでしたけども。

予備費が一定程度ある中で、そんな状況で、職員が翌日から、町内の経済に対する影響、各事

業者に対する影響、そういったことを調査に回るようになりまして、情報収集する中で4月の28日に緊急経済対策をまとめて、5月の1日に私に総体を報告してくれたところです。そのほとんど全てについてやろうということで、5月の1日に議会の皆様の御了解をいただいて専決処分して、たちまち取り組むこととしたところです。その後の5月の15日には、先ほど財政課長が説明しましたように、第2次の専決処分をさせていただく中で、必要な施策について緊急に取り組んでまいりました。

いろいろ、先ほど阿部議員から御質問があった中で、幾つか、この際ですからお答えをさせていただきますけども、しばしば「大分県で最初の取組」とか「独自の取組」とか「新しい取組」とかいう言葉が出てくるんですけども、この新型コロナウイルス感染症に対しては、そういった人目を引くような施策というよりも、本当に困ったところに光を当てる、そういう施策ということで取り組んでまいりました。そういったことで、職員の中には、これが大分県で日出町だけとか、大分県で日出町が1番とか、そういった発想はなかったというのは私は感じております。真に皆さん方の役に立つ施策をしっかり職員が考えてくれたというところで、私は職員を評価しているところでございます。

そして、今、行財政改革と今回の新型コロナウイルス感染症対策ということなんだろうと思いますけども、阿部議員はこういったときこそ行革で資金を生み出して、それを新型コロナウイルス感染症対策に充てるべきじゃないかというお話がありましたけども、行革で生み出せるのはそんなでかい金が生み出せるわけじゃなくて、小さなところを積み上げながら行財政改革していくというのが実際の内容でございます。その中で、行革をさらに厳しくすることで新型コロナウイルス感染症に対する資金が生み出せるほどのものになろうとは、私は想定をできておりません。

議員の御質問の中にも「垂れ流し」というお言葉がありましたけども、先ほど申し上げましたように、必要などころに必要な資金を配置した施策でございまして、これがどっかの部分に垂れ流しになっているというのは、私は思っておりません。

そして、この際、行財政改革を緩めるというお話がありましたけども、行財政改革が頭の中からなくなったわけではないんです。一定程度それも考慮しながら、ただこの際は新型コロナウイルス感染症対策を優先すべきだろうという判断で取り組もうということで、先ほど申し上げましたように、4月の初めから、1億円という国の交付金、これが全く話も出ていない中でそういったことに取り組んできたというのがこれまでの状況でございます。

行財政改革と新型コロナウイルス感染症対策、両方に関する考え方も、以上申し上げたとおりでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） おっしゃっていることはよく分かります。

今、町長の答弁の中にも、小さなことを積み上げて行革していくという話もありましたけども、ちょっと僕も細かいことを言わせてもらいますけども、例えば先ほど非常に褒めた特別定額給付金申請の件です。これの申請書です。

日出町は、こういうA4サイズの立派な封書で配送されています。この予算は国から来るかもしれないですね。ですが、お隣別府市では、このような茶封筒みたいなやつで送っています。これ一つ取っても、金額は全然違うんじゃないかと思います。細かいことを積み上げるという発言もあるんで、こういうところから意識改革が必要じゃないですか。何か今、国から来るからいいやみたいな感じに聞こえるんですけど。本当に行革やるのであれば、職員、執行部、課長さん等々の意識改革がやっぱり必要であって、こういう細かいところから改善しないと全然行革にもつながらないと思うんで、ぜひこういう目に見えているけど気づいていない部分をしっかり意識改革して、今後の行財政改革につなげていただきたいというふうに思います。

私の質問は以上です。

○議長（池田 淳子君） 答弁はいいんですか。（発言する者あり）いいですか。町長、お願いします。

○町長（本田 博文君） せっかくの機会ですので、今の封筒の件について、担当課長はちょっと恥づかしくて言えないでしょうから、私から申し上げますけども。

日出町はA4の封筒じゃないかと、別府市は定形封筒じゃないかというお話でございました。この定額給付金、早く給付するためには、当然早く申請書を皆さん方に送らなくてはいけない。そこで職員が何が一番苦労したかというところ、封筒の確保なんです。全国、全自治体が送る。窓つき封筒じゃなくちゃ具合が悪いということで、その封筒を探すのに職員は、当初は国の施策が困っている人に30万円という施策から全国民に10万円という形になったときに、たちまち動き始めたのが封筒の確保だったんです。それはもうすごい印刷会社とか関係のところ当たって、やっと透明の袋が確保できたんです。それによって、日出町は早くから住民の皆さんに封筒を届けられるようになりました。先ほど申し上げましたように、この時点で96%の皆さんに給付済みあるいは給付できるという形に至ったんですけども。

誰も知りませんが、封筒の確保、職員がとても苦労して、その中で皆さん方に早く届けることができたということは知っておいていただきたいと思ってあえて答弁をさせていただきましたけども、確かにおっしゃるように、定形封筒であればもっと安く済みます。ただ、本当に困っているところに、封筒の郵送代を安くするべきか、住民の皆さんに早く特別定額給付金を届ける作業をすべきかという判断の中で、日出町役場は早く届けるほうを取ったと、若干高いかもしれませんがその選択をしたというところでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 阿部真二君。

○議員（6番 阿部 真二君） 早くするためにこれを使ったということですので、それはスピード感持って対応していただいたんでいいと思うんですが、行革という考え方、そういう部分ではやっぱりそういう細かいところから、目には見えているけど気づいていない部分から、ぜひ意識改革に取り組んでいただきたいというふうに思います。

以上で終わります。

.....

○議長（池田 淳子君） 1番、河野美華君。河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 議席番号1番、河野美華です。

まず初めに、今般の新型コロナウイルス感染症が拡大する中において、休業せずに職務に従事されました医療関係者はじめ放課後児童クラブや保育関係者など、多くの方々の甚大なる努力、そして町民の皆様の自粛行動などの真摯な取組に対して敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大を予防しながら、社会経済活動を本格的に回復させていく新たな日常をつくり上げるには、町民一人一人の意識改革はもちろん、行政の取組、支援が必要不可欠です。本日の質問では、この観点も取り入れながら質問してまいります。

この3月、4月、5月は、学校が臨時休業となる歴史的な事態となりました。加えて、こども園や幼稚園、放課後児童クラブの利用自粛も求められたため、親が家で子供を見た家庭も多かったです。

子供と過ごすことは親なら当たり前だと思われるかもしれませんが、元気な子供と家の中だけで長期間過ごすことは本当に大変なことです。我が子の大切な時期を家庭だけでどのように過ごせばいいのか悩む、親にとって忍耐の要る大変な3か月間でした。しかし、この間、最も辛苦に耐えたのは子供たちです。卒業式、入学式をはじめ、様々なことで随分我慢を強いてきました。

やっと今は通常の生活に戻りつつありますが、子供や保護者には大きな不安が残っています。それは、この間の学習をどう取り戻すかという問題です。特に、今年度末に受験、進学を控えた中学3年生、小学6年生の不安は非常に大きく、また新生活に円滑に移行できなかった小学1年生、中学1年生の不安も小さくありません。

そこでまず、3月分と4、5月の休校中の学習の遅れを取り戻すためにどのように取り組むのか伺います。

○議長（池田 淳子君） 学校教育課長、稗田健治君。

○教育委員会学校教育課長（稗田 健治君） それでは、議員の御質問にお答えいたします。

これまでの臨時休業、分散登校等で、当初の各教科等の年間指導計画に照らし合わせて、現在、

不足分が生じております。この不足分については、各学校、各学年、また教科ごとに把握しているところであります。不足分については、夏休みの前半と後半を授業日として対応してまいります。

なお、3月の未履修分については、4月の授業で学習済みとなっております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 夏休みを短縮すれば遅れを取り戻せるということで、安心しました。この夏休みの短縮について、保護者へのお知らせや説明はどのような状況か、教えてください。

○議長（池田 淳子君） 学校教育課長。

○教育委員会学校教育課長（稗田 健治君） お答えいたします。

今後、学校を通じて保護者の方々に周知する予定となっております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 子供も、保護者も、学習の遅れをどうするのだろうかと思っていることと思います。例えば県内でも方針決定の早かった由布市では、5月15日に夏休み短縮を決定し、5月19日にはホームページで公式に発表しています。保護者や子供たちも気にしているので判断を急いだとのこと。日出町においても、迅速な決定や情報発信をお願いしたいと思います。

夏休みの短縮という話ですが、7月下旬から8月に登校するとなると、新型コロナの感染リスクもさることながら、熱中症が非常に心配になってきます。5月22日の大分合同新聞にも、「空調はあるが窓締め切りは困難。猛暑の授業、課題も」と書かれており、関心が集まっています。感染防止対策と熱中症対策の両立が必要です。どのような対策を考えているのか、教えてください。

○議長（池田 淳子君） 学校教育課長。

○教育委員会学校教育課長（稗田 健治君） お答えいたします。

熱中症対策としましては、県や国からの通知にのっとりまして、各学校で適切に対策を講じるよう周知しております。

具体的には、教室でエアコンを使用する際も換気が必要となってきますが、室内の温度が上がり過ぎないように窓の開け方やエアコンの温度設定もこまめに調節すること、次に、こまめな水分補給を呼びかけること、さらに、マスク着用時は体に負荷がかかる作業・運動を避けて、風通しのよいところや屋外で人と2メートル以上の距離を確保できる場合は適宜マスクを外すよう呼

びかけること等について留意するように周知しております。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） エアコンについては換気方法など対策を考えていただいているようですが、気になるのはマスクです。6月に入った段階で、もう既に苦しかったり暑かったりしたため、子供の気分が悪くなったという話も聞いています。猛暑の中、マスクをつけての学校生活や登下校というのは、ある意味命がけと言っても過言ではないという気がしています。現場の先生方は、学習の遅れや感染防止対策に加えて熱中症対策と本当に大変だと思いますが、この点については特に注意していただくよう伝えてもらいたいと思います。

それから、以前から教員の負担軽減のためお願いしているスクール・サポート・スタッフですが、特に学校が再開してからは、児童生徒への様々な配慮が必要になるため、学習指導員やスクール・サポート・スタッフの増員は不可避だと思います。これについては国も増員のための予算措置を取るようですが、町ではどのようにお考えか、伺います。

○議長（池田 淳子君） 教育総務課長、帯刀志朗君。

○教育委員会教育総務課長（帯刀 志朗君） 議員、今、御質問があったとおり、この5月に閣議決定されました国の2次補正予算、その中にスクール・サポート・スタッフの増員の予算も計上されております。

本町におきましても、スクール・サポート・スタッフ増員に向けて、県を通じて要望してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 現在、募集は行っていないということでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 教育総務課長。

○教育委員会教育総務課長（帯刀 志朗君） 御質問にお答えします。

この国の2次補正予算の前に、コロナ対策で、職を失われた、それから解雇された方々を対象とした、学校事務補助員という形で実は募集をかけております。ですが、なかなかちょっと応募のほうが進んでおきませんので、それに合わせた形で、今回、国の補正予算を借りて募集をしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 今後も引き続き募集していただけるということで、よろしく願いいたします。

新型コロナウイルスとの闘いは、再び休校措置を取らなければならない状況が訪れるかもしれ

ません。私たちは、これに備える必要があります。

備えるに当たり、大きく2つのポイントで考えなければならないと思っています。1つ目は学びを止めないこと、2つ目は教育格差を広げないということです。既に3か月近い休校が生じていることから、これ以上の学習の停滞は避けなければいけません。また、休校となった際には、児童生徒の家庭環境の違いにより生じる学習の格差もできる限り広げない工夫が必要となります。

再び休校措置が必要となった場合にどのように備えるか、学びの継続、教育格差の2つの視点も踏まえ、町の取組方針、対応策の説明をお願いします。

○議長（池田 淳子君） 学校教育課長。

○教育委員会学校教育課長（稗田 健治君） それでは、お答えさせていただきます。

再度臨時休業となった場合は、教育格差を広げないために、児童生徒に適切な課題を課し、適切な指導をしていくことが大切であると考えております。各教科で使用している副教材や学習プリント等を使って、家庭での学習を進めていきます。その際は、練習問題や復習問題のみだけでなく、これまでの学びを継続し、学校再開後の授業も見据えて、教科書に基づく課題を課し、予習的な問題等にも取り組んでいきたいと考えております。

また、文部科学省が開設し、児童生徒及び保護者等が自宅等で活用できる教材や動画等を紹介するサイト「子供の学び応援サイト」や、大分県教育委員会の子供たちの学びを支援するデジタル教材等のリンク集、そして教科書発行者による教科書の内容に対応した学習サイトの活用を奨励していきます。

臨時休業中は、児童生徒の学習の様子を把握し、指導に生かしていくため、教師が電話や家庭訪問等で学習状況を把握していきたいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 家庭学習や予習的なものについてですが、6月1日の朝日新聞に「臨時休校、母親たちは」という記事が出ています。「教え方も人それぞれの中で、新しいことを教えるのは難題でした」「子供が時間どおりの学習をするよう管理することは共働きには不可能だった」などの声載っています。そうすると、塾に通っている子のほうが理解が進むといった教育格差が一層拡大するのではないかと心配しています。今後の家庭学習における教材やプリントには、今回の休校で得た知見をぜひ生かしてもらいたいと思います。

また、答弁の中で、学びのサイト等も活用するという話がありました。今回の学校が休校になるといった事態をきっかけに、全国的にICTを活用したオンライン教育についての議論が加速されています。

日出町においても、1人1台端末や家庭でもつながる通信機器の整備、ハードを有効に活用す

るためのソフト、人材を一体とした整備を加速することで、緊急時においても全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現する必要があります。

町の取組状況と今後の見通しを教えてください。

○議長（池田 淳子君） 教育総務課長。

○教育委員会教育総務課長（帯刀 志朗君） それでは、議員の御質問にお答えをいたします。

御質問の中にありました現在国の令和元年度の、それから令和2年度の国の補正予算を活用しましてICT機器の活用をした授業を行えるよう、学校内のネットワーク環境、それから児童生徒に1人1台の端末整備を現在進めているところであります。

学びの継続というところで、オンライン授業の重要性は感じておりますが、まだまだ大きな課題が残っております。ですので、整備を充実していくに当たり、大分県教育委員会、それから本町の財政担当課とも十分協議しながら、オンライン教育ができるような状況を今後検討してまいりたいというふうには思っております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 今、オンライン教育をするにはまだまだ大きな課題等があるということでした。家庭でもつながる通信機器についての話が出なかったもので、そこに関連するか分かりませんが、先ほど、再休校の場合には学びのサイトの活用等も考えているということでした。家にネット環境がないと、サイトは見れません。対応策はありますか。

○議長（池田 淳子君） どなたが答弁されますか。教育総務課長。

○教育委員会教育総務課長（帯刀 志朗君） 議員お話のとおり、いろんなサイトを文科省、それから大分県教育委員会で準備をしていただいております。

まだオンライン授業ができる状況にはございませんので、子供たちにはそういった動画教材を録画するような形で、例えばDVD等に収めたものを家庭に配布するというような手法も今後考えられるのではないかとこのように思っております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 今、DVDという話が出たんですが、国はオンライン教育の加速、ICT環境を使った教育の環境整備の加速を進めています。国は、再休校に備え、家庭でもつながる通信機器、モバイルルーター等を早く整備するように言っていますが、コスト面で整備に躊躇している自治体も多い印象を受けます。

日出町も、検討の結果、ルーターを整備しないという選択をすることは十分考えられますが、再休校にいつなるか分からない現状です。ルーターを整備しないとなった場合、オンライン教育

等もできませんし、即時性を持って代替案に切り替える必要性を感じます。そういった家庭でもつながる通信機器が準備できない場合、オンライン教育等のことを考えて代替案があれば教えてください。

○議長（池田 淳子君） 教育総務課長。

○教育委員会教育総務課長（帯刀 志朗君） なかなかオンライン授業ができないという状況であれば、この5月、6月、分散登校という形も一つの保障として来ておりましたので、子供たちには十分な授業が行き渡りませんが、分散登校という考え方もできるのではないかというふうに思っております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） ICT環境の整備がなかなか財政的に難しいという自治体は、日出町だけではありません。別府市や中津市に聞いたところ、モバイルルーターはランニングコストがかかるので整備できないということでした。

ただし、代替案として、別府市は、緊急時のポケットWi-Fiの月額レンタルでの対応を考えていましたし、中津市は、あらかじめ端末には幾つかオフラインで使えるソフトをもう既に入れるようにしている。また、既に独自で作ったみんなの学習応援動画をダウンロードして持たせるつもりだとのことでした。

大事なこと、目的は、緊急時においても学びを止めないこと、教育格差を広げないことです。休校や災害の緊急時、学習への対応は、全国一律でルールがあるわけではありません。知恵を絞り、工夫し、スピード感を持って対応する自治体とそうでない自治体間で教育格差が生まれるのではないかと不安です。引き続き、遅れをとらないよう、取組をお願いいたします。

教育長に伺います。

今後、災害やコロナで休校となった場合の児童生徒の学びについての考え、思いをお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 教育長、堀仁一郎君。

○教育長（堀 仁一郎君） いろいろ考えられますが、今言う、オンラインの授業、試算をしております。もうかなりの費用。日出町の場合、学校における整備もまだ全て整っておりません。それに加えて、日出町世帯、ちょっと若干聞いてみましたら、半分、6割から7割ぐらい、家庭の中でもできると回答した児童生徒の数です。そこも把握しております。

それから、もう一つは、今、議員御存じように、一方方向、双方向、そういういろんなやり方、2つのやり方があります。全国の記事等々を見ても、双方向等では回線がパンクして、全国的にやり始めたのはいいけど、途中でストップしているという自治体が大半です。これは、今、4G

で通信回線やっています。2020年度から国は5Gを推薦してはいるんですけど、全国的にそこまで設置されていないので、30人、40人が一斉に双方向の授業に入ると回線がパンクして、なかなかうまく行っていないという状況があります。そういう中で、先ほど課長がお答えしましたように、状況にもよりますが、なるべく少人数で分けて、家庭訪問の回数を増やすとか、そういう方向に持って行ける限りはそういう方向で行きたいというのが私の考え方です。

もう一つ申し上げますと、先ほど議員さんが言った中津市、別府市の様子なんですけど、全国的に大分県の場合は授業時数が多いほうなんです。大分県の場合、18市町村の中で分散登校とか学校を再開した面では、別府市、中津市に比べて大体2週間程度うちはまだ授業をしておりますもんですから、それで危機感ないとは言いませんけど、それぞれ自治体における台所事業と申しますか、そういうのがありますので、今後またいろいろ考えながら進めていきたいなと思っています。

それからもう一つ、最終的には学習指導要領の内容を削減するというような方向で国も動いています。実は、6日の土曜日の朝日新聞の、御覧になったらお分かりのように、教科書の内容で2割ほど、学校の授業で扱わなくてもほかの方法で代替ができるというような具体的な例を教科書会社に指示をして、それを各都道府県を通じて学校に配布するというような方向が土曜日の朝の朝刊の朝日新聞で出ております。その後、授業内容の精選をしていかざるを得なくなるんじゃないかというのが、これは私の考え方です。

実は、今、40代の学校週5日制入ったときの指導要領の内容は、今よりも3割少なかったわけです。だから、今の40代、40前半から、学校週5日制に入っころの指導要領の内容、削減していったわけです。いわゆるゆとり世代です。その頃の指導要領の内容ちゅうのは3割低いので、現在は3割多いんです。そのこと等を考えて、国も、今後これが長引くことがあれば、いろんな形で指導が入ってくるんじゃないかとは思っております。

とにかくいろんなケース、いろんなパターンが考えられますもんですから、こちらとしても早急にいろいろ考えながら、打てる対応については打っていききたいと、そういうふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 緊急時の家庭訪問という話に関しては、オンラインができれば、先生が生徒の自宅まで行かないでいいというメリットもあります。先生の働き方改革の点からも、引き続き取り組んでいただけたらと思います。

教育長におかれましては、家庭環境の違いから教育格差が生まれることはなくさなければいけないという思いを以前からお持ちだと伺っております。授業の遅れに加え、新しい生活様式での

衛生管理等、取り組まなければいけないことだらけとは思いますが、児童生徒のための取組を今後も引き続きお願いいたします。

では、次の、配慮が必要な子供……。

○議長（池田 淳子君） 河野議員、ちょっとお待ちください。

お諮りします。

一般質問の途中ですが、ここで中断して、しばらく休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田 淳子君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩します。午後 1 時 10 分より再開いたします。

午後 0 時 04 分休憩

午後 1 時 10 分再開

○議長（池田 淳子君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。1 番、河野美華君。河野美華君。

○議員（1 番 河野 美華君） 次の質問は、配慮が必要な子供、家庭についてです。

国は、広く全ての国民に特別定額給付金を、加えて子育て世帯には子育て臨時特別給付金を、さらに独り親家庭には児童扶養手当の拡充を行おうとしています。

特別定額給付金については、日出町は 5 月 8 日に大分県内で最も早く支給が開始されました。5 月 1 日からのオンライン申請受付開始で 8 日に支給ということですから、執行部においては、ゴールデンウィークも含めた対応があったと思います。また、子育て世帯への支援ということでは、国の子育て臨時特別給付金に加えて、中学生以下の子供 1 人当たり 5 千円分の商品券の配布が既に行われております。この間の執行部の迅速な取組に敬意を表します。

しかしながら、今なお、より支援を必要としている方がいるのではないかと気がかりです。ここまでに行われた多数の方を対象とした経済的支援に加えて、これからはより支援が必要な世帯に特化した基礎自治体ならではのきめ細やかな支援も必要かと考えます。

御承知のとおり、独り親家庭の貧困率は 50%を超えています。先ほど、安部徹也議員が言われたように、独り親家庭がコロナの影響により、より厳しい生活を強いられている場合も多いようで、独り親家庭が必要とする支援に結びつけていくことが大事だと考えます。

改めて、新型コロナウイルス発生後の町内の独り親家庭の現状について教えてください。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長、安田恵君。

○子育て支援課長（安田 恵君） 河野議員の質問にお答えいたします。

新型コロナ発生後につきましては、独り親の家庭の方々から、窓口や電話等で相談がございました。今回、コロナウイルス発生後に、例年8月に児童扶養手当受給者に対しまして現況届というのを行っております。その際、通常であれば、所得及び生活実態等の確認をさせていただくんですが、今回、この8月の現況届に合わせまして受給者の方々と面談をし、日出町のほうでコロナに対しての影響等をお伺いしたい調査を作りまして、そちらのほうで調査を行い、より具体的な生活実態、支援策の希望等、ニーズ調査の把握に努めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 独り親家庭の貧困問題は口に出しにくいと、顕在化が遅れることもあると思います。先月、独り親家庭の相談窓口を設置している大分県母子寡婦福祉連合会に話を伺ったところ、生活に困って、こちらにも電話がかかってくる。中には、特別定額給付金をもらえると思っていただけ、支給がまだ先と分かって困っているがどうしたらよいかといった、すぐ必要なお金の工面ができず困っている方もいるということでした。

一部の自治体では児童扶養手当に上乘せをしたり、経済的に困窮する要保護、準要保護の子供に対して昼食代を支給したりしている自治体もあります。

最近、有効求人倍率を初めとした雇用情勢が急速に悪化しており、今後、町内でも生活の苦しい独り親家庭が増加する恐れがあります。このような家庭へは、少し中長期的なサポート、支援が必要だと考えますが、見解を伺います。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（安田 恵君） 独り親家庭につきましての助成につきましては、支援については基本、今回8月の調査に基づきニーズを把握した上で、より長期的な細やかな支援策を考えていきたいと思っております。

具体的には、今回、第2次補正のほうで国が支援するひとり親世帯臨時特別給付金等の手続、こちらにつきましては、支給事務は日出町は大分県が行うんですけれども、申請受付等の事務についてはこちらの窓口ですようになります。ですので、この制度の周知・広報等を速やかにし、県のほうに進達をし、対象者の方々に手当がスピーディーに払われるように手続をしてまいりたいと思っております。

日出町といたしましても、独自でニーズ調査を把握した結果、どういう取組ができるかを、国の施策等を踏まえながら、町としても検討していきたいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 日出町が行う支援策の一つとして、今後、現金給付でなくても、

例えばコロナのせいで余っている食材や農家の作物を町が買い取って届けるといったことは双方の支援になります。今後も動向は注視していただいて、新型コロナにより仕事と子育てを1人で担う世帯に大きな負担が心身共に生じる前にサポート、支援をお願いします。

それと、コロナの影響でもう一つ懸念されるのが、貧困問題とも関連が深い子供への虐待や家庭内暴力の増加、特定妊婦についてです。児童虐待等のセーフティーネットの役割にもなっていたこども園や学校、町の健診などが中止になり、子供の見守り機会が減少し、虐待等の実態が見えにくくなっているのではないかと、誰からも気づいてもらえず、悲しんでいる子供が少なからず日出町にもいるのではないかと危惧しています。

そこでお聞きします。現在、要保護児童対策地域協議会に登録されている人数を教えてください。また、対象者には、現在、どういった見守り、支援を行っていますか。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（安田 恵君） 議員の質問にお答えいたします。

今現在、要保護児童対策協議会で把握しております対象児、5月末現在では35世帯で55人となっております。このうち、特定妊婦を5人含んでおります。

支援の方法ですけれども、まず、対象児童ごとに、見守り、支援等を行う主な機関を決めます。その機関がまずは主となって電話訪問等を行い、状況等を定期的に把握してまいります。その状況を把握した結果、要保護児童対策協議会でその結果を集約し、必要に応じて支援等をつなげてまいります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 以前、私が一般質問したときは33世帯48人の登録数と言われていたんですが、現在55名に増えているというのは、これはコロナの影響でしょうか。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（安田 恵君） 今回のコロナの影響で増えているということはございません。以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 影響はないようですが、この55名の方たちの見守りについては、途切れてしまうと、必要とされるときに支援が行えないのではないかと心配です。緊急事態宣言中も見守り等はされていましたでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（安田 恵君） 具体的には、緊急事態宣言のときは、例えば保育園とかが、自粛で休まれている子供さんにつきましては園のほうから連絡を取っていただいて、お母さんも

しくは子供さんの状況を確認していただいたりとか、その対象児童の主な機関のほうに連絡を取っていただいて、状況の把握に努めてまいりました。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） では、非常時でも見守りの空白期間はなかったということで、安心しました。

4月から、日出町にも子育て世代包括支援センターが設置されたところです。今後は、より一層、虐待や独り親など配慮が必要な家庭が行政の相談窓口確実につながるよう、積極的で分かりやすい情報提供や相談窓口への誘導を行っていただきたいと思います。

最後の質問です。

新型コロナウイルス感染症の流行は、安心して子供を産み育てられる環境整備の重要性を改めて浮き彫りにしました。少子化対策でもある子育て支援策は社会全体にとって必要不可欠であり、機を逸することなく取り組まなければなりません。

今年の3月には、令和2年度から6年度までを計画年度とする新たな日出町子ども・子育て支援事業計画が策定されました。この計画に書かれてあるとおり、子供は社会の希望であり、未来をつくる力です。これからの町の発展にとって、子供たちはもちろん、結婚・子育て世代が将来に希望を持ち、安心して展望を描ける環境があることは非常に重要なことです。

そこで伺います。町長が描くこれからの子ども・子育て支援策に対する思い、方向性を教えてください。

○議長（池田 淳子君） 町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） 河野議員の御質問にお答えいたします。

かねてから、子育て支援については、高齢者福祉、障がい者福祉、産業振興、企業誘致あるいは健康づくりなどと並んで主要な政策の一つと考えておりました。そういったことから、就任後は、子ども医療費の無料化の拡大、給付型奨学金の創設、通学路の安全対策など、子供やその保護者の支援につながることを実施してきました。

そんな中で、前年度末で第1期子ども・子育て支援事業計画が終了することから、第2期計画を策定したところでございます。策定に当たっては、佐藤賢之助会長をはじめとする子ども・子育て会議の様々な分野の委員の皆さんに議論をしていただき、御意見を反映していただいたところです。

策定に際して行った町民アンケートによりますと、5年前よりも、働くことを望む母親の割合が増えております。また、要望を見ると、経済的支援や病気のときの保育サービスの充実、公園の整備、放課後児童クラブの充実等が挙がっておりまして、子育て支援のニーズは依然として高

まっているというふうに思っております。

子育て支援の方向性ということですが、まずは生まれるまでの、安心して産むことができるための母と子供の健康の確保、それから幼児期の子供の保育や子育て支援サービスの充実、そして地域における子育てネットワークの推進、そしてそのほかには教育環境の充実、子供を取り巻く生活環境の整備、配慮が必要な子供や家庭への対応など、こういったことがありまして、子育てを取り巻くあらゆる課題に取り組んでいかなければならないと思っております。

令和2年度からは、こういった課題に答えられるように、子育て世代包括支援センターを子育て支援課内に設置して、総合的に取り組むこととしたところです。また、令和2年度の新規事業として、病児・病後児保育を利用した際の利用料について、助成を行うことといたしました。

子育て支援については、これからも課題は尽きることがないと思っておりますが、「日出で子育て！みんなで子育て！」の基本理念の下に、粘り強くその解決に取り組んでまいり所存でございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） ありがとうございます。子育て世代の多い日出町ゆえに様々な子育て支援が必要とされているところですが、私が町の喫緊の課題と捉えています、こども園や放課後児童クラブの待機児童問題や幼児保育、出生率についてはどのように考えていらっしゃいますでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 町長に聞かれましたか。

○議員（1番 河野 美華君） はい。

○議長（池田 淳子君） 町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） ただいま申されました、こども園の待機児童の問題、それから放課後児童クラブの問題、こういったことについて積極的に取り組んでいきたいと、先ほど申し上げたとおりでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 河野美華君。

○議員（1番 河野 美華君） 先ほど答弁にもありましたように、病児保育に関しては補助金を出してもらえるようになったところです。ただ、町としての病児保育設置についてはまだ予定はありません。

それと、出生率については、6月5日に発表された令和元年度の合計特殊出生率が、全国値と同様に、大分県も1.53と大きく数字を落としています。まさに子育て支援施策の真価が問われている局面であろうと思います。

明る未来、日出町の実現に向けて、町全体が一体となった取組をお願いして、一般質問を終わります。

.....

○議長（池田 淳子君） 2番、豊岡健太君。豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 2番、豊岡健太です。

今なお多くの方が苦しんでいる新型コロナウイルスですが、一時期のピークは過ぎたとはいえ、まだまだ予断を許さない状況です。ここ大分県でも60名の方が感染し、うち1人の方が亡くなられたことは皆さん御存じのとおりです。亡くなられた方の御冥福をお祈りするとともに、一日も早い終息を切に願っております。

それでは、通告書に従って一般質問を行います。

今回は1人1項目ということですので、私も新型コロナウイルス対策について伺います。

昨年12月に中国武漢市で報告された原因不明の肺炎は、COVID-19と名づけられ、瞬く間に世界中に拡散しました。ある資料によりますと、昨日の6月7日の時点で全世界の累計感染者は666万人で、死者は39万人を超えています。

日本国内で初めて感染者が確認されたと発表があったのは1月16日で、それから4か月半余りで、国内では累計感染者数は約1万7千人余り、死亡者数は916人に上っています。

国は、これまでに様々な感染症対策を打ち出し、2か月前の4月7日には緊急事態宣言を発出しました。感染拡大防止の施策と同様に大切となってくるのが、甚大な影響を受け、疲弊している多くの事業者への経済的支援策です。経済産業省より様々な支援策が打ち出されており、ここ日出町においても、商工会を通じて地元の事業者が活用できる制度への申込みが多く寄せられているのは皆さんも御存じのとおりかと思えます。

そこで伺います。国や県の施策ではなく、日出町独自の緊急経済対策について、雇用や事業を守るための施策、支援策である中小企業等事業活動維持支援事業と中小企業等経営支援利子補給事業について、事業費や想定している事業者数等、具体的内容をお聞かせ願います。

先月の14日に開催されました全員協議会において、執行部より、ある程度説明を受けましたが、改めて詳細をお聞かせ願います。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長、安田加津浩君。

○商工観光課長（安田加津浩君） それでは、豊岡議員の御質問にお答えをいたします。

なお、この2つの事業につきましては、5月1日付で専決の予算をつけさせていただいた事業でございます。

まず、中小企業等事業活動維持支援事業の制度内容についてでございますが、これは、町内の事業者が令和2年3月1日以降に新型コロナウイルスに起因する融資を受けた場合に、その融資

額の3%を補助する制度でございまして、1事業者につき最大で30万円まで支給するものとなっております。

補助を受けるには、町内に本店を有することや、売上高が前年同月比等で5%以上減少していることなどの要件を設けております。農林漁業などの第一次産業従事者も対象としており、多くの事業者が活用できる制度となっております。

事業費につきましては3,825万円を計上してございまして、想定している対象事業者数は、中小企業等で140件、農林漁業者等で25件、計165件を見込んでおります。

次に、中小企業等経営支援利子補給事業の制度内容についてでございますが、これは令和2年3月1日より前に受けた融資について、新型コロナウイルスに起因して同日以降に返済猶予や減額について条件変更を行った場合に、その後支払う利子について補給金を支出する制度でございます。補給期間は6か月間で、最大で10万円まで支給するものとなっております。

補助対象となる事業者につきましては、先ほど御説明しました事業活動維持支援事業と同様にしてございまして、対象事業者にはどちらか一方の補助金を選択していただくこととなります。

事業費につきましては450万円を計上してございまして、想定している対象事業者数は、中小企業等で30件、農林漁業者等で15件の計45件を見込んでおるところでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） ありがとうございます。今、対象事業者数をお聞きしましたけども、算出根拠があれば教えてください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

対象事業者数は、中小企業等で140件を見込んでおります。その140件の積算の部分でございますが、この制度を構築する段階での融資件数が約40件、商工会と協議する中で、今後、対象事業者件数は約3倍強になるであろうという見込みでこの件数を立てております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） ありがとうございます。

②の質問ですけれども、農林水産業者以外で、現在のところ、どのくらいの数の事業者が申込みをされているでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

現在までに申請のあった事業者数についてでございますけれども、先週の6月5日までの受付

分で17社、補助総額として400万5千円となっております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 6月5日の段階で17社ということですので、現時点では想定より大分少ないのかなというふうに感じました。

使い勝手がいい悪いはあるのかもしれませんが、事業者のほうから事前の例えば問い合わせですとか、何か意見とか要望とかあったんでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） この制度設計を立てる上では、当課のほうには余り相談等はなかったところでございますけれども、先般、商工会のほうで、各事業所宛てに緊急アンケートを取っていただいたところでございます。行政への要望としては、家賃等の補助、予算の早期執行、資金支援などの多くの要望をいただいたところでございます。

今回、特に商工会さんのほうに大変協議をいただきながら進めていっておるところでございます。今後とも町独自の制度設計を行って、対象になる事業所については一層の周知を図っていきたいと、そういうふう考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 町内多くの事業者が現在抱えています借入金の借換えや返済計画の見直しを余儀なくされている中で、今、御説明いただいた支援策のどちらか一方、そして1事業者につき1回までしか使えないという制約はありますけれども、資金繰りに苦しんでいる地域の中小・零細事業者からしてみれば、大変ありがたい制度であるというふうに感じております。この場をおかりして、感謝を申し上げます。

次に、③の質問に移ります。

先ほど申し上げたように、経済産業省から様々な経済支援策が打ち出されていることは、町長や課長もよく御存じのとおりだと思います。

お手元に配付させていただいた資料を御覧ください。

「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」というタイトルで、資金繰りや設備投資、経営環境の整備といった内容が77ページにわたって明記されており、その一部を抜粋したものです。

恐らく町内の多くの事業者が活用するであろうと予測できるのが、お手元にお配りした新型コロナウイルス感染症特別貸付という制度で、もう一枚の特別利子補給制度という制度と併用すること、つまり合わせ技を使うことによって、実質無利子で資金を借りられるというものです。今

回のコロナの影響で資金繰りに困窮している事業者には大変ありがたい制度で、100%政府出資の日本政策金融公庫を通じて低金利で融資を受けられます。

国が用意したこの新型コロナウイルス感染症特別貸付の中身を少し要約して説明しますと、まず、融資を受けられる条件として、最近1か月の売上高が前年または前々年の同期と比較して5%以上減少していることとあります。法人代表者、いわゆる社長以外の保証人は必要なく、担保は無担保で、運転資金として借りられ、貸付期間は15年、融資限度額は8千万円、うち据置期間は5年以内です。

金利に関してですが、日出町内の事業者のほとんどは国民事業と呼ばれるカテゴリーに分類され、基準金利は1.36%ですが、この制度では、最初の3年間は0.9%優遇され、0.46%で融資が受けられます。さらに、もう一つの特別利子補給制度というものを併用することによって、先ほども申し上げましたが、実質無利子で融資が受けられると国は説明をしています。

ただし、ここからがポイントなのですが、先ほど説明しました新型コロナウイルス感染症特別貸付を活用できた事業者全てがこの実質無利子の恩恵を受けられるということではありません。この特別利子補給制度が適用となる条件として、小規模事業者は売上高が15%減少、中小企業者に至っては20%の売上げ減少が条件となります。つまり、逆に言うと、売上げ減少幅が小規模事業者は15%未満、中小企業者は20%未満の事業者は、通常よりも低金利とはいえ、元金と利息の両方の返済をいずれ迫られることとなります。

繰り返しになりますが、国の新型コロナウイルス感染症特別貸付が適用される売上げ減少幅は5%以上です。実質無利子となるのは売上げ減少幅15%以上、中小企業者は20%以上です。

ここで伺います。実質無利子の適用が受けられない売上げ減少5%以上15%未満、中小企業ですと5%以上20%未満のこの隙間の町内事業者に対して、日出町として、現行とは別枠での利子補給という形で支援の手を差し伸べていただけるよう検討をお願いしたいのですが、町の考えをお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

実質無利子で融資を受けられない事業者に対する支援についてでございます。

議員がおっしゃるとおり、売上高の減少率によっては利子補給が受けられない、実質無利子とならない事業者が発生する可能性もございます。

このような事業者につきましても、先ほど御説明をいたしました事業活動維持支援事業の補助金は受給できると思われまますので、今年度発生する利子分については、この補助金でカバーができるものと考えております。

しかしながら、先ほど議員おっしゃられたとおり、国の利子補給制度は3年間となっております

して、補助金で3年間の利子全額をカバーすることはできません。こういった事業者に対する支援は必要と考えております。

そのため、来年度から、町独自の利子補給制度を開始できるよう準備を進めてまいりたいと現在考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 前向きに検討いただけるという認識でよろしいかと思っておりますので、本当にありがとうございます。

県の商工観光労働部も、「がんばろう！おおいた資金繰り応援資金」と銘打って、3年間実質無利子という有利な融資を受けられる制度を設けていますが、こちらもやはり15%以上の売上げが落ちていることが条件となっています。

想像してください。幾ら低金利、幾ら無担保とはいえ、事業者は将来必ず返済をしないとイケないお金です。法人代表者、つまり社長は保証人になることが条件ですので、絶対に借金から逃れることはできません。そういう意味では、事業者としては、本当ならば借りたくないお金です。当然、元金を町が負担するわけにはいきませんので、この状況の中、雇用を守り、日出町で事業を継続しようと頑張っている町内事業者のために、何とか利子の分だけでも別枠での支援をお願いしたいと強く要望します。

町長にお聞きします。午前中の答弁にもありましたけども、直接町内の事業者から言われたことがあるかもしれませんが、昨今の厳しい財政状況というのも理解した上で、あえてお聞きします。

現在のコロナ不況の状況の中、地元事業者の存続なくして日出町の経済の維持・発展はあり得ません。ここは財政調整基金をある程度大きく取り崩してでも地元業者への支援に資金を投入することが必要ではないかと考えますし、午前中の答弁で町長もそうおっしゃっていました。町長の地元事業者に対する思いをぜひお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） 豊岡議員の御質問にお答えします。

新型コロナウイルスの感染症の影響で、3月の初めあたりから町内経済にも大きな影響を及ぼし始めてきたということで私も心を痛めておりましたけども、4月になって、職員に緊急経済対策を検討するように指示したことは先ほど申し上げたとおりですけども、町内の事業所のほぼ100%が中小事業者ということで、町内経済を支えているのはまさに中小事業者の方々です。こういった中小事業者がコロナで困窮しているというときに、支援させていただくのは行政の責務であるというふうに思っております。そういったことから、いろんな補助金、それから利子補

給、そういった組立てをしてきたところでは。

当初は融資を受けた方々に対する補助金を考えていたんですけども、私も町を歩く中でお話を聞かせていただいて、融資もそうだけでも、既存の融資の支払い延長、条件変更と言うらしいんですけども、そういった形で乗り切ろうとしている方もいらっしゃる、そういうお話を聞きまして、既存の融資の返済の繰延べしたときにその利子を支援する、そういった制度も職員と一緒に考えてきたところでは。

いずれにしても、コロナ後に町内の事業者が事業の継続を諦めることのないように、しっかり支援していきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） ありがとうございます。午前中、町長と財政課長のほうからの答弁にもあったとおり、財政調整基金は災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する基金ですから、今回のコロナ不況の状況下はまさに不測の事態と言えます。もっと積極的に活用すべき基金であると私も思っています。この基金を取り崩した理由は、町民の暮らしを守るため、雇用を守るため、事業者が経営を継続していくためであるという明確な目的があれば、町民の理解はきっと得られるというふうに思っています。

確かにこのコロナ不況がいつ終息するか分からない中、一気に財調を取り崩すわけにはいきませんので、段階的にならざるを得ないのは致し方ないと思いますけども、町長には、町民のために、より一層の経済支援を検討していただきたいというふうに思います。

次の質問に移ります。

町内の商工業者と同様に、現在の状況に困窮しているのが一次産業従事者です。午前中、安部徹也議員の質問と重複するんですけども、4番、5番が先ほど午前中答弁いただいた内容であれば割愛しますけども、一緒ということではよろしいでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長、河野一利君。

○農林水産課長（河野 一利君） 議員の御質問にお答えいたします。

4番目の、状況につきましては、午前中、安部議員の回答と変わりはありません。

⑤の支援策につきましては、若干、私の説明が足りませんでしたので、ちょっと補足説明させていただきます。

農林水産業への支援策についてでございますが、午前中のほうでも御説明いたしましたが、基本的には資金と、それから資材等の補助ということがメインになるわけですけども、まず国が支援する農林漁業セーフティネット資金を初めとする5年間実質無利子・無担保化の各種制度資金がたくさんございますが、これを活用していただくというのが1つになります。これらにつ

きましては、施設整備や資金繰りなど、経営の維持・安定に必要な資金として融資されるもの
でございます。

また、農林水産業としては、これまでも出てきましたけれども、事業全般に広く使えます持続
化給付金も農林漁業者の対象ともなるというところでございます。

それから、町独自の支援策につきましては、先ほど商工観光課長のほうから御説明がありまし
た2つの資金、それから利子補給制度がございますが、これも農林水産業者の対象となるという
ところでございます。

それから、そのほかに、経営安定を図るため、3か月分の資材等経費に対して助成を行う食を
支える日出町農林漁業者がんばれ緊急支援事業も実施しております。併せて、本定例会での補正
予算で計上しております新型コロナウイルス対策農業者利子補給事業も農業者負担軽減対策とし
て実施していきたいというふうに考えております。

これが5番目の支援策ということでございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） それでは、6番の質問のほうに移ります。

先ほどお聞きしました日出町独自の支援策であります中小企業等事業活動維持支援事業と利子
補給制度は、農林水産業者も活用できる制度であるということは認識しております。先ほど、商
工業者の申請数はお聞きしましたが、農林水産業者の申請はどのような数字になっているでしょ
うか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長。

○農林水産課長（河野 一利君） 議員の御質問にお答えいたします。

先ほどの中小企業関連の維持支援事業と、それから利子補給事業に関しての農林水産業者の活
用でございますが、6月5日現在での申請実績についてお答えさせていただきます。

中小企業等事業活動維持支援事業につきましては、水産業者の方が1件ということです。もう
一つの中小企業等経営支援利子補給事業につきましては、残念ながら実績はございません。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 第一次産業の従事者は困窮しているという話を聞きはするんです
けども、申請数だけを見れば、ほとんど活用されていないというのが、今、分かりました。この
数字を見て、課長はどのように感じますでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長。

○農林水産課長（河野 一利君） 資金の活用につきましては、多ければ多いほどよいというわけ

でもございませんけども、今回の件数につきましては、本当に少ないなというふうに思っております。

もう一点は、コロナの影響に関して聞き取り調査をした際に、今後、各種支援については、これから実施していきたいとかそういった意見も出ておりましたので、今後出てくる可能性があるのかなというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 商工観光課のほうにも聞きましたけども、第一次産業従事者のほうから問合せですとか要望とか、そういった声は上がってきたんでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長。

○農林水産課長（河野 一利君） お答えいたします。

農林水産業者のほうからの問合せにつきましては、午前中も御説明しましたとおり、漁業者のほうから何件か来ております。それから、農業者のほうからも数件お問合せがあっているという状況でございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 内容については、どういったものが上がってきたか、教えていただけますか。

○議長（池田 淳子君） 農林水産課長。

○農林水産課長（河野 一利君） 御質問にお答えいたします。

内容につきましては、まず、こういった支援の内容についてどういったものがあるのかという御質問が主でございます。あとは、手続等をどうすればいいのかというところで、商工観光課のほうと農林水産課のほうでやっている部分がございますというところでの説明もさせていただいております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 全ての一次産業従事者へ、知らない方もたくさんいらっしゃるかと思いますので、ぜひ周知をよろしくお願ひしたいと思ひます。

町民でもある町内の商工業者、農林水産事業者は、町の経済を支える大切な存在です。何に困っているのか、どのような支援を求めているのか、行政としてアンテナを高く張っていただきたいというふうに思ひます。町民からの意見や要望に対して、受動的な町の姿勢ではなく、先手を打って、町のほうから積極的に耳を傾ける、手を差し伸べる、そういった日出町であってほしい

というふうに思います。

次の質問に移ります。

災害時の感染対策について伺います。

コロナウイルスによる感染症が終息していない状況の中、災害時の避難所における感染リスクをどう抑えるかが重要な課題ではないかというふうに思います。

災害はいつ起こるか分かりません。地震や、毎年のように全国各地で発生している集中豪雨等も懸念されます。特に、町内各地に指定されている避難所への避難が必要となった場合、どのくらいの避難者が集まるか分からない状況の中、いわゆる密の状態になることが想定され、感染リスクが高まることが予想されます。

御覧になった方もたくさんいらっしゃるかと思いますけども、先月の5月の16日の合同新聞に、「避難所の感染対策急務」という見出しで記事が載っていました。記事によりますと、大雨による土砂崩れや川の氾濫が懸念される梅雨を前に、避難所でコロナウイルス対策をどうするかが課題となっている。県は、マスクや消毒液を持ち出し品に含めるよう県民に呼びかけるとともに、発熱などの症状がある人を別の場所に移すといった予防策の構築を急いでいるとあります。

4月上旬に、国から各都道府県に対して、密を避けるため、災害時にできるだけ多くの避難所を開くことや、知り合いの家への避難を呼びかけるなどの対応を検討するよう要請したそうです。それを受け、県は、避難所の備蓄については4月に補正予算を決定し、市町村が衛生用品や間仕切りを備えるための補助金として5千万円を盛り込んだとあります。

また、約1か月前の5月13日には、県庁において市町村職員を集めた会議を開き、避難所でどんな対応をするか協議したと書かれています。県の生活環境企画課の課長のコメントが載っており、「避難所での3密を解消して、感染が起きないようにしなければならない。市町村と連携して、早急に対応策をまとめる」とあります。

それを踏まえ、先週6月3日の合同新聞の1面に、梅雨入り前に県が避難所対策をまとめ、5月下旬に各市町村に通知したと記事が載っていました。

そこで伺います。ここ日出町において、災害発生時における避難所における感染対策は、県からの通知を受け、現状、どのように策定しているのかお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 危機管理室長、藤本周司君。

○総務課参事兼危機管理室長（藤本 周司君） 豊岡議員の御質問にお答えをいたします。

現況において、災害が発生し避難所を開設する場合には、避難所の3密の回避や衛生対策を徹底するなど、感染症対策に万全を期すことが重要であると考えております。

県の通知を受けまして、想定される避難者と避難先等について、救援対策部及び衛生防疫対策部と検討を行いました。

避難所では、敷地外から呼びかけ、早目に動線を分け、一般避難者と新型コロナ感染疑いを別の入り口から入室するようにいたします。

入室後、一般避難者はグループごとの間隔を2メートルずつ開けるように配置し、感染疑いは個室スペースを設けるなど、指定避難所ごとの配置図を作成しているところでございます。

衛生用品等の備蓄品につきましては在庫確認を行っており、今後も必要な備蓄品を補充していきたいと考えております。

災害時に感染症を恐れ、危険な場所からの避難を躊躇することを防ぐことに加え、親戚や友人の家等、指定避難所以外の避難所の検討も併せてしていただけるよう周知をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 5月12日の朝日新聞の記事によりますと、福岡県は5月1日に市町村向けに避難所運営マニュアルを作成して、1時間に2回程度の換気、食事時間をずらして密集・密接を避けるなどの対策を盛り込んだと載っていました。

2017年7月の九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市では、避難所における1人当たりの収容面積を従来の1.65平方メートルから4.7倍の7.7平方メートルに拡大し、これは半径1.5メートル以内に他の避難者がいなくなる広さだそうです。

このように、日出町でも、災害時において様々なことを想定して、できる限り具体的数字を用いたマニュアルをしっかりとお願いしたいと思います。

関連してお聞きします。

先ほど御紹介した6月3日付の合同新聞の記事に、感染した場合に重症化の恐れがある基礎疾患を抱える人、要支援・要介護の高齢者、妊婦の方々は、同意を得たホテル、旅館や福祉避難所を利用、必要に応じて市町村職員が振り分けするというふうに載っていました。

ここ日出町でも、町内のホテル等を避難所として使うような想定はしているのでしょうか。想定しているのであれば、具体的にどのように振り分け等を行う予定なのか、分かれば教えてください。

○議長（池田 淳子君） 危機管理室長。

○総務課参事兼危機管理室長（藤本 周司君） 御質問にお答えします。

大分県と大分県旅館ホテル生活衛生同業組合と協議をされておりまして、ただいま議員が言われましたとおり、高齢者の方や基礎疾患を持たれた方、妊娠している方を対象に避難の受入れをするというお話ができています。

日出町におきましては、避難所において、問診や聞き取りで対象者を把握して、旅館組合のほ

うに受入れ依頼をするという流れになっております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） では、一応準備はできているという認識でよろしいでしょうか。

先ほど、避難所用の衛生用品は在庫確認して補充も行うという答弁があったかと思うんですけども、避難所の規模にもよるとは思いますが、何人ぐらいの数を用意しているのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 危機管理室長。

○総務課参事兼危機管理室長（藤本 周司君） 現在、避難者の想定数は、町全体で1,700名を見込んでおります。ですので、その3日分を備蓄するように想定して準備をしているところであります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 1,700人掛ける3日分ということでよろしいですね。

まだまだ衛生用品の確保というのはスムーズではないんじゃないかなというふうに思いますけども、在庫不足が補充不足に陥らないよう、しっかりと把握をお願いしたいというふうに思います。

国からの通知を受けまして、全国の自治体では、民間のホテル、旅館を活用する感染防止対策を既に講じているところも幾つかあるようです。ニュースによりますと、福島県では1人当たり1泊3食つきで7千円と入湯税を合わせた経費の半分の補助する施策を展開しており、同県いわき市は、この補助制度を活用して、妊婦や高齢者の感染リスクを減らすための体制整備の方針を決めたそうです。

ここ大分県において、そういった助成金があるのかは現時点では把握はしておりませんが、災害はいつ起こるか誰にも分かりませんので、あらゆる事態を想定して、町民の命と安全を確保していただきたいというふうに思います。

最後の質問に移ります。

先ほど、同僚議員から学校関連の質問があり、重複する部分がありますけども、私のほうから、いわゆるオンライン授業について伺います。

コロナの影響で、政府による3月2日からの休校要請を受け、ここ日出町でも休校が続いていましたが、ようやく5月25日から町内の小中学校で全員登校が再開されました。

現在は従来どおりの授業が行われているかと思えますけども、もし第2波が来て、町内で感染者が出た場合、また休校にせざるを得ない状況になることが予想されます。そうすると授業時間の確保が困難となるため、解決方法の一つとして、メディアでも取り上げられることが多くなり

ましたオンライン授業、オンライン学習の実現を模索する自治体が増えています。

文部科学省が、2か月前の4月16日に、1,213の自治体に対して行った調査によりますと、休校中の家庭学習の指導方法としては、教科書等の紙の教材を活用した家庭学習が100%だったのに対して、学校独自作成の授業動画は10%、同時双方向のオンライン指導は5%にとどまったそうです。

4月以前からオンライン学習をしている学校としていない学校との間で、格差が出ることも予想できます。ここ日出町でもできるだけ早くオンライン授業、オンライン学習を行うべきだと感じていますが、町の考えをお聞かせください。

また、実施する場合の課題に対してどうお考えなのか、併せてお聞きします。

○議長（池田 淳子君） 教育総務課長、帯刀志朗君。

○教育委員会教育総務課長（帯刀 志朗君） それでは、議員の御質問にお答えをいたします。

現在、国の補正予算を活用しまして、ICT機器を活用した授業が行えるよう、学校内のネットワーク環境の整備、それから児童生徒に1人1台の端末整備を進めております。

今後、長期にわたる休業措置を取らざるを得ない状況になった場合には、児童生徒の学びを継続させる点、それから休業期間中の子供たちの健康観察、先生方が子供たちの様子を観察できるというような点においては、このオンライン授業は有効的な手法の一つというふうに捉えております。

それから、このオンライン授業を実施するに当たり、課題というところがございますが、まず1点目に、現在、国の交付金を活用しながら施設整備を進めているという状況でございます。端末の整備につきましては、大分県が中心となって共同調達をしましょうという整備を進めておりますので、もうしばらく端末が入るには時間を要するというふうに考えております。

それから2つ目なんですが、児童生徒の家庭がオンライン授業を受けられる環境下にあるかという点がございます。まず、現在、児童生徒の家庭のオンラインの状況調査をしておりますが、まずインターネットを利用できる環境にない家庭には、当然、通信機等の負担を保護者のほうに強いるわけにもいきませんので、無線ルーターを調達し貸し出すなど、今後検討が必要になってくるというふうに思われます。

そうした場合、短期間のうちに十分な機器の確保ができるのか。また、その通信費を誰が負担するのか。最終的には町が負担せざるを得ないのではないかというふうには考えますが、そういったところにも十分協議が必要となってくると思われます。

それから3つ目ですが、オンライン授業を開始するに当たって、保護者の方がどの程度、時間的・技術的な面でサポートをしてもらえるかということが重要となると考えます。小学校低学年の児童では、タブレットの取扱いとかまだ不慣れで、誤作動等が予想されます。そういったト

ラブルの解消からも、保護者の方の協力が必要になってくるのではないかというふうに思われます。

そのほか、通信回線の容量ですとかIT機器の性能によるトラブルが生じることが予想されますので、そのときの対処方法をどうするかなど様々な課題が考えられますので、今後、十分な協議をしていきたいというふうに思っております。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） 当然、環境整備するためには、先立つものといえますか、お金が必要となってきますので、県ともよく相談して、一日も早い実現を期待しておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

教育長、午前中も少し答弁されていましたが、このオンライン授業に対する教育長の考え方を、すいません、改めてお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 教育長、堀仁一郎君。

○教育長（堀 仁一郎君） 午前中、ちょっと話をしました。今、課長が言われたとおり、課題が多くて、なかなかそれを一つずつ解決する方法というのが、本当ここ一、二か月、そういうことで頭がいっぱいなんですけど。

付け加えて、予算化されて、全ての機器等がそろった段階でも、午前中、河野美華議員がおっしゃったように、独り親家庭、ただ私が知っているところで私にこういう質問をしました。うちは子供1人置いているのでなかなか構ってあげられないと。もし双方向じゃなかったら、うちの子は本当に見よるんじゃないだろうか、見ていないんじゃないだろうか。それで学校が授業が終わったという判断をしたら、どんどん格差が助長されるんじゃないかなという、そういう声も実際頂いているところです。今後、想像が付きませんが、そういう家庭を取り上げてとかですね。実は4月に休校段階のときに、放課後子どもクラブに新規は入れないということで、小学校の3年生まで学校が1クラス開けて面倒を見るということにしました。そのときに早速電話を頂きました。うちは4年生だと。私は看護師で、毎日出てるので、家に誰も見てもらえないということで急遽学校と相談して、4年生まで、朝弁当を持ってきたらいつもどおり2時半まで面倒を見るということで、長期休校中の対応をしてきたところです。いろんな、様々な課題がありますが、私ども教育委員会としては、なるべく義務教育ですので、そういう格差とか困りを一つ一つ解決するよな方向でいろんなところと相談しながら進めていきたいと、そういうふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 豊岡健太君。

○議員（2番 豊岡 健太君） ありがとうございます。私自身、児童生徒は、学校に行って先

生と向き合って授業を行われるのが一番だというふうに考えています。しかし今回のコロナウイルスの影響で、学校教育の在り方、考え方が変わってきている。また、変わっていかねばならないというふうにも感じています。一番大事なものは、児童生徒、学生ができる限り格差のない平等な教育を受けられることだというふうに思います。オンライン授業の環境整備や準備をする先生方の苦勞は計り知れませんが、学校のICT化を町として力強く推進していただきたいをお願いをしまして、私の一般質問を終わります。

.....

○議長（池田 淳子君） お諮りします。コロナウイルス感染症防止のため、本会議場の換気を行いたいと思いますので、ここで10分間休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田 淳子君） 異議なしと認めます。したがって10分間休憩いたします。2時20分より開始いたします。

午後2時14分休憩

.....

午後2時21分再開

○議長（池田 淳子君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。10番、岩尾幸六君。岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 10番、岩尾幸六です。本日最後の質問者となりました。今議会では、9名の一般質問者がありますが、そのうち7名が新型コロナウイルス関連の質問であります。本日もかなりの質問が出まして、私のほうと重複することも多々ありまして、内容が乏しくなるかと思いますがよろしくお願ひしたいと思います。

さて、このコロナウイルスは2月に始まって、今日の6月現在まで蔓延して終息には至っておりません。この期間中、4月7日から5月6日まで緊急非常事態宣言が発令され、一時的に感染者の減少が確認されましたが、非常事態が解除されたら、残念なことにまた新たに感染者が増えているのが現状であります。

このように長期に渡って自粛が続く中で、経済も低迷しており収入減となった企業や店舗には数多くの支援策が取られてきました。そのような中、全国民が対象となった支援策が、特別定額給付金制度であります。日出町では申請書も早く配付され、さらに給付までの短期間で、今日説明がありましたが96%の入金が行われたことに感謝申し上げます。給付金を受け取った方は、素早い対応で大変助かったとの喜びの声も聞かれました。

それでは、最初の質問に参りたいと思います。

先ほど同僚議員もおっしゃっていましたが、新型コロナの国の支援策の代表は、特定定額給付

金以外に、利子補給事業、店舗賃料補助、納税猶予のほか、数多くの支援策が行われてまいりました。日出町では、企業や町民にどのような支援を行い、日出町の独自の支援があればお聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長、安田加津浩君。

○商工観光課長（安田加津浩君） それでは、岩尾幸六議員の御質問にお答えいたします。

先ほど豊岡議員の答弁と重複いたしますので、中小企業等事業活動維持支援事業と、中小企業等経営支援利子補給事業以外の企業に対する支援策をお答えしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

○議員（10番 岩尾 幸六君） はい。

○商工観光課長（安田加津浩君） はい。ありがとうございます。それではまず、町内飲食店緊急支援事業について御説明申し上げます。

この事業は、売り上げが減少している町内の飲食店を応援し、テイクアウトの推進を図る事業でございまして、「ひじイエイト」というネーミングで事業を実施しております。この事業に参加いただける、町内に本店のある飲食店に対しましては、支援金として10万円を補助しております。事業費につきましては、500万円ほど見込んでございまして、6月5日、先週の金曜日でございますが、6月5日の時点の登録飲食店数は47店舗となっております。

続きまして、中小企業等賃借料等補助金について御説明申し上げます。

この事業は、前年同月比の売上高が20%以上減少している事業者に対し、事業用建物にかかる家賃または光熱水費等の相当額を補助する事業でございまして、事業を行っている形態によりまして補助率等に差異がございまして、家賃を支払っている事業者につきましては、家賃月額額の3分の1を6か月分補助することにしてございまして最大で20万円、自己所有の場合など家賃が発生しない事業所については、光熱水費相当額として10万円を補助するものでございまして、事業費につきましては、2,440万円を計上してございまして、6月5日時点の申請件数は56件、補助の現在の総額は561万2,800円となっております。

最後に、購買促進事業について御説明いたします。

この事業は売り上げが減少している町内事業者等が販売する商品の購買を促進するために、役場内で商品の購入を呼びかけるとともに、町民に対しましても町ホームページなどを通じて広く周知を図っていくものでございまして、先ほど説明したひじイエイトに参加することができない事業者に対する支援としてございまして、既存の広報媒体等を利用して購買促進を図ることから、事業費につきましてはゼロとなっております。現時点ではまだ申し込みはございませんが、事業者からの積極的な活用が図られるよう周知に努めたいと考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 財政課長、白水順一君。

○財政課長（白水 順一君） それでは財政課からは、町民の方に向けての支援について御報告いたします。

まず最も大きな支援策は特別定額給付金でございまして、予算額は約29億2千万円であります。次に、子育て世帯への臨時特別給付金が約4千万円であります。この2つの事業は、全額国庫補助金によるものであります。

これ以外の日出町独自の支援策の中で予算額の大きいものでいいますと、先ほどからお話に出ております教育環境の整備の一環として、児童生徒に1人1台の端末機器を整備し、同時に通信ネットワークの高度化を図る経費に約3,200万円、また、それ以外にもコロナの影響で離職された方などを、町の会計年度任用委職員に採用する緊急雇用創出事業に約1,100万円、そのほかに、町立図書館や災害時の避難所などに備品の整備を図る予算も計上いたしているところでございます。これらの財源といたしましては、国からの臨時交付金や令和元年度の繰越金を充当しているところでございます。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） ただいま課長がいろいろ述べられたことに関しては、また後ほど質問をするところがございますので、そちらですとしまして。

まず、ひじイエイトについてちょっとお聞きしたいんですが、先ほど課長、47店舗とのことなんですけども、町民への支援策の中で中学生以下にひじイエイトのテイクアウトのクーポン券、1軒5千円相当が配布されるということがありましたが、これはひじイエイトでも使えるわけですね。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

当初の町内飲食店緊急支援事業、これは当初、第1回目、5月1日の先決予算を頂きまして、支援としてのスタートをした事業でございます。議員おっしゃられましたテイクアウトによる子育て支援事業、これにつきましては、5月15日の第2回目の補正の先決によって予算を先決させていただいた分でございます。これの制度につきましては、議員おっしゃられましたとおり、このイエイトの登録店舗に利用していただくクーポン券になっております。対策としては、子育て支援対策と併せて、町内の飲食店の緊急対策と両方の意味合いを含めて整った事業でございます。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） ありがとうございます。私なんかもこう見えていますとこの47店舗が参加しているということで、どれぐらいの利用があったのかたなというのがちょっと気になるんですけども、集計できる範囲で結構ですが、例えばテイクアウトのクーポン券で何名ぐらいの方が利用されているかちゅうのが分かればお知らせください。

○議長（池田 淳子君） 商工観光課長。

○商工観光課長（安田加津浩君） お答えいたします。

この制度は、各店舗が利用者の方、世帯の方からテイクアウトのためにクーポンを使われまして、そのクーポンをまず商工会のほうにお持ちいただきます。商工会のほうにお持ちいただいて換金をしていただくという形になりまして、まだまだ換金の時期が当初の時期でありますので、なかなかまだ集計ができていないというのが現状であります。6月5日現在で換金をいただいた店舗が10店舗で、枚数としては1,470枚という形で報告を頂いたところでございます。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 47店舗中10店舗で、枚数として1,470枚ということはかなり利用されているというふうに判断できると思います。これ大変いい事業の一つだというふうに思っていました。これに関しましては、4月22日に議会から議長が町長に要望書の中で、地元飲食店の売上げに協力してほしいという要望書、要望内容がありました。それに対して早急にこういうふうな形ができたのは大変感謝しているところでございます。

その中で、テイクアウトに関しては地元飲食店の売上げに協力してほしいというので、正規職員が中心となって昼食はできる限り地元飲食店のテイクアウト商品に協力することというふうな対策内容が出ておりましたが、今現在、どれぐらいの職員がこのテイクアウトを利用しているか、把握しているのでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 総務課長、藤本英示君。

○総務課長（藤本 英示君） 職員の利用の数自体は把握はしておりませんが、調査はしておりませんが、実際の利用の状況を見ても、うちの課でも隣の課でも配達をしている数がずっと増えておりますので活用が進んでいるというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） これ庁舎内の職員の方は、ゼロじゃなくて結構利用されているというんですけども、やっぱりこれやるとしたらもう徹底して職員さんは昼食を、手弁当をやめて、やはりテイクアウトに協力しようよというぐらいのやっぱり意気込みがないと、私はもう弁当作るんで、子供と一緒に弁当作るんで持っていくますじゃああまり統一がないと思うんです。

町長この辺どうでしょうか。やっぱり町内の飲食店を支援するために、全員何月までは、手弁当をやめてテイクアウトに徹しませんかちゅうぐらいの意気込みはないですか。

○議長（池田 淳子君） 町長、本田博文君。

○町長（本田 博文君） 町内の飲食店の売り上げが落ち込んでいるということがわかり始めた3月の課長会議の際に、職員の皆さん、まず皆さんから町内の消費の関係のためにできるだけお弁当を取るようにしましょうというところで声かけをしてきております。一々誰が頼んだか、誰が頼んでいないかという調査はもちろんしておりませんが、職員もその呼びかけに応じて、外注の食事が増えてきたというふうに思っておりますので、職員はできる限りの範囲で協力してくれているというふうに思っています。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） やっぱし今現在の職員の方が協力していただいているのが本当大変いいことなんですね。プラスアルファ、今後はプラスアルファができればまだ良いことなので、その辺はもう皆さん課長さんも含めて、おい、テイクアウト取れやとかいうような声かけが広がれば、庁舎の中で、ますます飲食店の繁栄ができるかと思っておりますので、この辺よろしく願いたいというふうに思います。

それから次の質問なんですが、コロナウイルスの問題で様々な行事が縮小とか中止となっております。代表的なものでは3月、4月の卒業式、入学式では参加者が父兄だけとかいうことで縮小。それからまた各種団体では総会の中止、それから5月では日出町最大のかれい祭りも中止となりました。そういうことで、町内ではなんかこうイベントが中止になってきて活気が消えたような感じがするんですが、町内で主催行事が縮小や中止となっておりますが、今後の行事開催の判断はどのようにされているかお答えください。

○議長（池田 淳子君） 総務課長。

○総務課長（藤本 英示君） 今年予定されておりました行事の中で、新型コロナウイルス感染症の影響で中止にした大きな行事、先ほど議員のほうからもお話がありましたが、各地区体育祭であるとか、城下かれい祭り等がございました。これらの行事につきましては、町のほうから多方面にわたり情報提供をさせていただき、それぞれのイベントを主催する実行委員会等の判断で中止を決定していただきました。その際、判断する上で主となりましたのは、その時点での国内、県内の感染拡大の状況や、国、県からの自粛要請等であったと聞いております。町が主催する会議や研修等の行事につきましても、同様の判断基準で中止を決定してございました。

今後の行事の開催の判断につきましては、県から発出されております緊急事態宣言解除に伴う5月26日以降の対応の中で、イベントや集会等の開催について段階的緩和の目安が5段階の移

行期間を設けて示されておりますので、それらを参考にしつつ所管課を中心に決定していくことになると考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 今後に関しては県が出している緊急事態宣言を見ながら決めていくと。じゃあ、近々にあります7月、8月、9月、ここ向こう3か月くらいの行事で何か取りやめとか延期とか決まっているようなやつはないんですか。

○議長（池田 淳子君） 総務課長。

○総務課長（藤本 英示君） その辺の情報、私のほうで集約しているものは現在のところはございません。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 今後の行事で、分かればもう早いうちに広報していただけたらと思います。また、回覧1回ではなくて回覧が2回ぐらい回る間。2回ぐらいは——2回つったら1か月前ぐらいか、にはもう町民の皆さんに広報できるような準備をしていただきたいと思います。中止になったのかということ、すぐ近々になって言われるのも何ですので、この辺は配慮をよろしく願いをいたしたいというふうに思っております。

じゃあ次です。

次なんです、先ほど同僚議員もちよっと触れたんですけども町内のマスクの在庫についてお聞きいたしたいと思います。私が3月議会で町内のマスク在庫量を確認したところ、備蓄のマスク枚数は町内で16万枚保有しているというふうな回答がございました。3月はコロナウイルスの影響がどんどん加速する中、どの店舗からもマスク、これがなくなって購入困難な状態になったため、備蓄用のマスクを町内の小中学校の生徒に配布したというふうな回答もいただきました。

このようにマスクが有効に利用されてきたのでマスクを必要としている病院とか介護施設などにも有効利用され、備蓄用マスクももう在庫が少なくなってきたというふうに思っていたんですが、なんと5月の在庫量は10万枚もあるということが報告されました。その報告の中で、主な配布先としては、学校関係に1万9千枚、介護施設に1万500枚、医療機関に6,800枚を配布したと。トータル——今日先ほどありましたけども——6万枚が町内に配布していると。残りが10万枚ということでありましたが、そこでお聞きします。なぜ配布枚数が6万枚ぐらいしか、少なかったのか。6万枚ぐらいでとどまったのか、この辺をお答えください。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長、後藤英樹君。

○健康増進課長（後藤 英樹君） 私のほうから町内のマスクの在庫量について今一度、細かい数字を申し上げたいと思います。

先ほどお話ありましたマスクに関しましては、町が備蓄しているマスクの数量になります。当初16万枚ございまして、5月末現在の残数、大人用が6万6,067枚、子供用が3万4,297枚、合計10万364枚でございます。御指摘のとおり6万枚を配布いたしております。

このマスクの配布に関して御説明申し上げますと、毎月、月の下旬から月の初めに関して、医療機関でありますとか、福祉施設、障がい者施設、保育園、幼稚園等に来月不足するマスクほどの程度ありますかということで調査をさせていただいております。3月の頭に、3月不足分ということでかなりの枚数を医療機関でありますとか、子育て支援の機関でありますとか、そういうところに配布させていただきました。その当時の説明では同じような要望が4月、5月続けば、5月末の段階で在庫は尽きるという説明をさせていただいていたんじゃないかと思っております。それで、市中からマスクが不足いたしまして、これも多分なんですけど、医療機関でありますとかそういうところに優先供給を国のほうがしてきたんじゃないかと考えております。その結果として、月々医療機関等から要望が来る数がだんだんと減ってきたというのが現状でございます。

現状10万枚まだ残っておりますが、先ほど言いましたようにこの分には、先ほどの避難所の使用を想定したマスクでありますとか、第2波、第3波に備えて備蓄している部分もございまして、町といたしましては真に必要なと思える事業所に割と早い段階から支援ができたのではないかなと考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 町内の医療機関とか施設に関しては、マスク足りないとか従業員の方がやっぱりこういう声聞くんですよ。ということは今課長言われたように、月の当初で調査したら今月分は大体あるとか、そういう感じで答えられたと思うんですが、やっぱりそういう声と現場の人たちの声ちゅうのはやっぱり少し差が生じているかなということで、また私こういう質問をさせていただいたんですけどもね。やっぱり施設とかいろんなところに関しては足りない。タクシーの運転手さんなんか、いろんな人を乗せて目的地に連れていきますけども、そのときもやっぱりマスクがないと心配だなと。でもマスクは足りないんだということでおっしゃっているんですね。

今、課長が言われたように、チェックして足りないところには対応するという事なんですけど、なぜ、例えばほかの市町村を見ると5千枚寄附をしたとか、1千枚寄附をしたとかいうのを報道で見てきたんですが、日出町としてもとりあえずこれを使ってくださいというふうな寄附という形を取らなかったのか、その辺が具体的に分かれば教えていただきたいんですが。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長。

○健康増進課長（後藤 英樹君） 報道されております寄附というのが、私が持っている感覚といたしましては、いろんな団体等から自治体に対して寄附を頂いていると。うちのほうも建設業協会のほうから寄附を、マスクを頂いたりしております。それをいかに有効に使うかという部分で、先ほど来説明しております真に必要な医療機関でありますとか、介護施設等に早い段階から供給できたのではないかなと考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） ほかの団体とか自治体から寄附を頂いた分に関しては有効利用をしているということであれば、それでいいかと思えます。

もう一個、今回のコロナウイルスで、やっぱり全国的にマスクの不足が発生しております。将来見据えると、またこのようなウイルスの蔓延だとか、今度は大災害がまた来る可能性もあると思うんですが、将来を見据えて今後町内での適正在庫数、今16万枚は昨年末ぐらいあったんですけども、どれぐらいが必要となるのか、チェックちゅうか試算しているか、枚数をお答え願いたいと思うんですが。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長。

○健康増進課長（後藤 英樹君） 現在備蓄しております16万枚といたしますのも、特別な根拠があって備蓄していたものではございません。今般の事態によりまして、例えばマスクでありますとかアルコール用消毒液、そういったものがまだ品薄の状況にございます。今後、これは希望的観測も含めてですが、各家庭でそういったものの備蓄も進んでいくのかなというふうに考えております。

その上で、新型コロナウイルスの対応として基本となりますのは新型インフルエンザ行動計画になりますので、それを検証する中で適正な備蓄枚数をまた検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 16万枚あったのが2万8千人の住民ですと1人5.7枚なんです。こういうなかったときに、万が一やっぱりこういうふうに長引く。今マスクは皆さんの手元にあるちゅうのは、ほとんどがこの紙マスク、購入じゃなくて手作りマスクなんです。これが普及してきて何とか持ちこたえているのがそうやと思うんです。そういう中、今課長がおっしゃいましたように各家庭でも備蓄が進んでくるんじゃないかと。それはもう各家庭で保管するのは結構なんですけども、やっぱり町として今回みたいに何か月もこういうウイルスが蔓延

するときに限っては、やっぱり1人5.7枚じゃ少ないねと。その辺の試算をきちっとして、もうちょっと増やそうかと。10枚程度とか15枚程度とか分かりませんが、やっぱりこれくらいが必要となるねちゅうのを町できちっと把握して、在庫として持っていたきたいというふうに思います。

マスクだけじゃないですね。今度は備蓄でやっていると、やっぱり生理用品だとか乳製品だとかそういうところも必要となりますので、前回また3月のときにも言いましたけども、やはり適正量というのをもう一遍計算し直して、この際きちっと全てのやつで在庫量として見直していただきたいというふうに思います。

さらにもう一点、マスク関係でお聞きしたいんですが、町内のコロナ緊急経済対策でマスクを必要としている独居高齢者を中心に配布すると。そのために町内の方にマスクの寄附をお願いする記事が広報で載っていました。その中でお聞きしたいんですが、配布は独居高齢者っただけなんですけど、普通の高齢者、御夫婦いる高齢者には配布しないんですか。

○議長（池田 淳子君） 福祉対策課長、伊豆田政克君。

○福祉対策課長（伊豆田政克君） 質問にお答えいたします。

当初はそういった形で考えておりましたけれども、福祉施策のほうでマスクバンクを設置いたしまして、先日もエコネット日出さんですとか、日出町更正保護助成会の皆様、また個人の方々等から寄附のほうを頂きまして、今約150枚ほど集まったところです。ですので、独居の方に限らず、今ホームページでも今募集のほう、必要な方を募集しておりますので、独居の方に限らず必要な方にお配りしたいと考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 必要な方というの何名ぐらいいるかも分かんないでしょう。今寄附されたのが150枚程度あるということなんですけども、目標としている寄附枚数ちゅうのはどれくらいか持たれているんですか。1千枚を目標にするとか。多いほどいいと思うんですけど。

○議長（池田 淳子君） 福祉対策課長。

○福祉対策課長（伊豆田政克君） 特に目標というものは定めておりません。というのも、手作りマスクを作られた方から伺いましたところでも、作る生地ですね、生地ですとかゴムですとかも結構不足しております、あと作るミシンの針がもう何か売切れ状態ですとか、そういった状況もありましてなかなか作るほうも、作っていただくほうもなかなか大量には作れないような状況もあるということですので、頂ける分を頂いてということで考えております。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） この寄附された150枚ちゅうのは、もう必要な方に配布されています。

○議長（池田 淳子君） 福祉対策課長。

○福祉対策課長（伊豆田政克君） お答えいたします。

募集のほう、6月1日よりホームページのほうで募っておるんですけども、現在のところまだ御希望の、お電話等で頂くということをしているんですけども、現在のところまだ希望のほうは届いておりません。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） じゃあ現在欲しいという方がいらっしやらないちゅうことは、少しはマスクはどこの家庭でも少しあるということ判断していいわけですね。

もう一個、一番大事だと思いますが、広報の中には回収ボックスは福祉対策課に設置しています。庁舎に持っていてくださいというのが内容ですね。これ、やっぱり役所的な考え方じゃないかなと。寄附受け取るから持ってこいというような意味合いなんですね。誰が持ってくると思いますか。先ほど言われているように、近所の方は結構ですけども、もう日出の外れのかいうところはわざわざ持ってくることはしないと思います。香川県の高松市でマスクの寄附もやっぱりつながっているんですね。そこは寄附されるマスクは持参やなく郵便局、局で郵送することができて、そのコストは県が持つと。県か市が持つというふうなこともやっていました。我が町もやはり、私も前回いつか言ったことあるんですが、見守り隊でやっぱり郵便局と協定を結びまして回収をやすくしたらどうかというのが私の案なんですけどね。寄附される方は、毎日配達員さんが家に来ると思います。そのときに、このマスクお願いしますよと。役場に、庁舎に持って行ってボックスに入れてくださいというふうにお願いしておけば、まだまだ容易になって回収が進んでいくんじゃないかというふうに思っております。こういうシステムをどうして採用できないかなっち思うんですが、こういうシステムの変更、変えるような考え方はございますでしょうか。

○議長（池田 淳子君） 福祉対策課長。

○福祉対策課長（伊豆田政克君） その御意見もあれですけども、現在のところ今希望のほうもまだ頂いておりませんので、どれくらい必要かということも分かりませんので、今現状150枚ほど集まっておりますので、また今後必要とされる方がどれくらい出るかということで不足等が出た場合等考えながら、また考えていきたいと思っております。

ただ、希望される方に関しましては、こちらのほうから郵送で送るような形には取っておりますので。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） まだ必要な方が出ないんで今までの方法でいいと。急に増えた場合は、また集めようと思っても時間がないわけなんです。これ本当に対応が遅いと思います。ですから、こういうことを今のうちからシステムを変えていって、こういうときはこうしようということでもうつくっておけば何でも早くなると思うんです。町長、こういう考え方はどうなんでしょうか。もう私の勝手な考え方で要らん世話じゃというような感じで見ておるか、いい考えで今後もやっていこうかというように考えているかどうか、一言だけ教えてください。

○議長（池田 淳子君） 町長。

○町長（本田 博文君） マスクバンクの御寄附いただけるマスクの100枚の提供方法ということなんでしょうけども、一つはマスクという性格上、梱包したりとかそういったところで衛生的にどうなのかといった気もいたしますけど、確かに持ってこれない方もいらっしゃるかもしれません。そういった方には、こちらに御連絡を頂いて、職員がそちらのほうに伺うときに頂きに参加とか、そういったことも考えられるんじゃないかなというふうに思います。

そういったことも含めて、寄附、寄附というか提供しやすいような方法も一つは考えていくといいのかなと思った次第です。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） ぜひ寄附される方も容易に寄附ができるようなシステムをつくっておいていただきたいというふうに思います。

じゃあ次の質問です。町内で感染者が出た場合の対応をお聞きしたいんですが、同僚議員がそういうふうな聞いておりましたので、私は一点だけ。

万が一日出町で感染者が出た場合、町内の住民への広報はどの辺までやろうというふうな計画があるのか、お聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長。

○健康増進課長（後藤 英樹君） 町内で陽性者が発生した場合の広報に関してでございます。

まず町内で陽性者発生した場合は、直ちに日出町新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催することになっております。その終了後に町民に向けて情報発信という形になろうかと思うんですが、県から来る情報というのは非常に少ないのは現状でございます。プレス発表用にA4ワイドペーパーで、これ県のホームページのほうにも記載されておりますが、陽性者の属性、性別でありますとか年代でありますとか、その辺が出てきます。それとともに、陽性者が発生した場合は、その日の大体夜8時ぐらいから県のほうが記者会見を毎回開催しております。そのプレス発表のペーパーに乗っていない情報が若干その記者会見の中で発表されることがございますので、

町民にとって必要と考えられる情報は速やかに、これも即時性という部分でホームページが中心になろうかと思うんですが、提供していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 日出の住民の方が、町外に働きに出ていく、それから遊びで行って、町外で感染した場合はそれでいいと思うんです。町内で、例えば公共施設なんかで感染したという場合に関しては、やっぱりどここの場所で発生がしたとかいう発信はするんですか。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長。

○健康増進課長（後藤 英樹君） それらの情報に関しましても、基本的には県のほうがどこまで情報を出すかというのを決めております。県の情報発信のルールに従って発表するという事になっております。うちのほうとしては、県から来た情報を速やかに流すという形になろうかと思っております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 例えば、中央公民館でやはり開放していて、感染したというときにしましては、県が中央公民館ちゅう場所を指定しなかったら、日出町の町民はそれが分からんわけですね。それでもいいんですか。

○議長（池田 淳子君） 健康増進課長。

○健康増進課長（後藤 英樹君） 多分議員おっしゃっているのは濃厚接触者の特定でありますとかそういう部分も含めてだと思っております。濃厚接触者の特定に関しましては、うちで言いますと東部保健所がどういった方が濃厚接触者に当たる、そういった判断をいたします。先ほど極端な例としてお話いただいたんだとは思いますが、そういう公共機関等で発生した場合、当然消毒等もございまして、その後の措置等もありますので、うちのほうとしてはなるべく詳しい情報を県に要請いたしまして、その情報をもとに町民に周知するという形になろうかと思っております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） やっぱしこれ、できるだけ詳しく広報できるように努めていただきたいと思います。何も知らなけりゃまたそこでうわさがうわさ呼びまして変な方向に行く可能性がございますので、よろしく願います。

今課長が言ったんですが、日出町町内の施設とかそういうところで発生した場合、清掃とかそういうのをきちっとやっていかなきゃいけないことあるんですが、今現在そういうふうな公共施設なんかで濃厚感染して発生した場合、清掃するマニュアル、清掃マニュアルちゅうのがも

う作られているんですか。それとも県のほうで持たれているんですか。

○議長（池田 淳子君） 生活環境課長、梶原新三君。

○生活環境課長（梶原 新三君） お答えいたします。

町内で発生した場合、各課のほうから消毒担当のほうを数名出させていただいております。その方々、それから課長に対しましては、防護服の着脱のやり方、それから消毒についての方法についての説明をしております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） これ、庁舎内で何名ぐらい担当者というのはいらっしゃるんですか。

○議長（池田 淳子君） 生活環境課長。

○生活環境課長（梶原 新三君） お答えいたします。

各課から1人ずつ出してもらっております。おおよそ5名程度で発生したところを消毒してもらおうようにしております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） よく分かりました。

消毒担当ちゅうのはまた訓練が多分必要になると思いますので、定期的に訓練実施させていただいて忘れないように、重要なポイントは忘れないように訓練をお願いしたいというふうに思います。

では、次の質問です。

コロナウイルスの影響で辞職とか収入減となった住民に対して、任用職員の採用を日出町も打ち出しております。私もインターネットなんかで見たんですが、県内の市町村でも余り任用職員ちゅうの、別府市が500名ですかね。あと、宇佐・中津とかいうのは6名とか9名とかしか載っていなかったんですが、その他に雇用している市町村とかがあればちょっとお聞きしたいんですが。

○議長（池田 淳子君） 総務課長。

○総務課長（藤本 英示君） 新型コロナウイルス感染に係る緊急雇用対策としての会計年度任用職員の募集について御質問頂きましたので、現在の日出町の状況を少し報告をさせていただきます。

第1回目の募集で5職種について6名から8名程度の募集を行いました。現在のところ2名の応募がございました。その2名の方を採用しております。2回目の募集で学校の事務補助を

3名募集中でございます。第3回目の募集でトレーニングルームの清掃、消毒作業員を募集中ということでございます。全体での雇用が少ない場合には、予算の範囲内で雇用人数や雇用期間等について変更を行い、応募しやすい形態で再募集を行うことも検討をしております。

御質問の他市町村の状況でございますが、6月議会で補正予算を計上して、緊急雇用対策として会計年度任用職員の募集を予定している市町村もあるかもしれませんが、私のほうで調べた情報では、5月末現在で職員を募集しておりますことが確認できましたのは、日出町を除いて4市ということになっております。具体的には別府市のほうが500名程度、日田市が45名、臼杵市が5名、津久見市が15名となっております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） 別府に続いて日出もかなりの人数での計画があつて皆さん安心してらるんじゃないかと思うんですが、先ほど課長言われたように、今募集は2名しかいなかったと。全国的に見ますと、やっぱり2万件ですかね、2万人の方が解雇とかいう情報があるというふうに聞いていますが、先ほど日出町で倒産した企業とかがないということなんで、やっぱり雇用募集少ないのは当然かなというふうに思いますので、今後もしできる限り募集人数を長期にわたってちょっとしていただいて、雇用のほうを計画をお願いしたいというふうに思います。

最後の質問です。これも同僚議員と重複するんですけども、コロナウイルスの影響で多くの企業と店舗の収入減となって様々な国の支援だとか受けている状態でございます。このような中で心配しているのが、来年度税収入が大きく減少して、町の運営にも影響するんじゃないかと。素人目で見てもこのように思います。来年度の税収入の見込額とどのような計画があるのか、この辺が分かれば教えてください。

○議長（池田 淳子君） 財政課長。

○財政課長（白水 順一君） すいません。議員の質問にお答えします。

来年度の税収につきましては、現在の景気の厳しい状況を考えれば、法人町民税に加え個人町民税においても少なからず影響はあるというふうに考えております。しかし、固定資産税につきましては、コロナの影響で売上げが一定以上減少した事業者に対しましては、国の緊急経済対策といたしまして償却資産と事業用の家屋については軽減措置がなされ、その減収分については全額国費で補填されているということになっておりますので、固定資産税については町民税ほど影響は少ないんじゃないかなというふうに考えているところでございます。

予算規模とかは後でよろしいですか。

○議員（10番 岩尾 幸六君） もう言っているから、一緒で。

○財政課長（白水 順一君） よろしいですか。ほんじゃ続けて。通告にあります予算規模とその

対応策についても先に、すいません、お答えさせていただきます。

来年度の予算規模についてでございますが、今の段階ではまだはっきりしたことは申し上げられません。ただし、学校給食センター建設事業の来年度は最終年度となっているほか、幼児教育・保育の無償化等によりまして扶助費も高止まりいたしておりますことから、今年度と同様の100億円を超える予算規模になるのではないかというふうに考えております。したがって税収の減収のほか、先ほどもちょっとお話ししたんですけど、国全体の景気の低迷などによって、普通交付税をはじめ国からの交付金についても不透明な状況でありますので、事務事業のさらなる見直しやシーリングの拡充等によって、先ほども少し申しましたが、歳入規模に見合った予算の編成をしていかなければならないというふうに考えているところであります。

以上です。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） やはり来年度、今年度以上に厳しい状況になろうかと思うわけです。先ほど同僚議員が言われたんですけども、行財政改革を行うときはどうするんですかと。強めなきゃいけないんですかと言ったら、町長がいや緩める必要があるということはおっしゃられました。そうやって、今言われたように、税収入が減少するということがある程度見えてきていますので、やっぱり予算等の見直しが必要じゃないかなということですよ。

もうここではっきりちょっと聞きたいんですが、町長ほか三役、それから職員、杵築市なんか10%カットしました。宇佐なんかは議員もカットしております。やっぱりこういう思い切ったことを日出町は考えているのか、いないのか。これは町長お聞かせください。

○議長（池田 淳子君） 町長。

○町長（本田 博文君） 新型コロナウイルスによる経済の影響について、いろんな施策に取り組んでいるのはるる申し上げたとおりです。今議員が申された宇佐の例は、議員発案から始まってああいう形になったというような新聞記事でございましたけども、今のところそこまでのことは考えておりません。与えられた資源の中でしっかり緊急経済対策に取り組んでいきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（池田 淳子君） 岩尾幸六君。

○議員（10番 岩尾 幸六君） その与えられた資源が少なくなってくるというのは、やっぱり町民誰もが心配するところなんです。やっぱり議員の中でもそういう心配があります。私ちょっと宇佐の議員の削減ちゅうのはやりましたけれども、やはり隣の杵築市さんもやっぱり10%ほど全職員が削減しているということもございますので、やっぱり日出の財政も見たときにそういうのは必要になるのかなと。いやいや、必要ないですよ。今ある資金で今後乗り切っていきます

からいうことで町長がおっしゃればそれで済むかと思うんですが、万が一のことを考えるとやっぱり日出町の町民の中では議員の報酬は下げた、下げなきゃいけないのじゃないかと。職員もそうじゃねえか。町長もそうじゃねえかと。大半の人からそういうふうな声が聞かれるわけです。そういうのを踏まえて、やっぱり実行しなくても結構なんですけど、こういう場合はどれぐらいの予算削減になるとかいうやつを一遍示していただくと、私なんか議員のほうも、ああそうなんかなという賛否が問えると思いますので、ぜひその辺のシミュレーションちゅうのを一遍出していただくことをお願いしたいというふうに思っております。

以上で、私の質問を終わります。

散会の宣告

○議長（池田 淳子君） お諮りします。本日の一般質問はこれで終了し、明日定刻から一般質問を続けたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（池田 淳子君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会し、明日定刻から一般質問を続けることに決定しました。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午後 3 時 14 分散会
